

令和元年度
教育委員会点検・評価報告書
(平成 30 年度事業対象)

令和元年 7 月
浦添市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）の一部改正により、平成 20 年度から、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

これを受け、本市教育委員会においても平成 20 年度から点検評価を行って、その報告書を作成し、市議会に提出するとともに、本市ホームページ上において公表をいたしました。

令和元年度においても同様に点検評価を実施いたします。

本報告書は、平成 30 年度における事業の中から重点施策と位置づける事業について、点検・評価を実施し報告書としてまとめたものであります。

ぜひ、ご一読いただき、本市教育委員会の取組にご理解を賜るとともに、ご意見、ご指導を頂くことができれば幸いに存じます。

令和元年 7 月

浦添市教育委員会

教育長
委員
委員
委員
委員

嵩 元 盛 兼
長 田 隆 子
池 間 生 子
下 地 イツ子
又 吉 繁

目 次

I	点検・評価制度の概要	1
	1 経緯	
	2 目的	
	3 学識経験者の知見の活用	
	4 点検・評価の方法	
	*根拠法令	
II	本市教育委員会の点検・評価の方法	2
	1 点検・評価の対象となる事業の考え方	
	2 点検・評価の様式について	
	3 点検・評価書の見方	
	4 学識経験者の知見の活用について	
III	教育委員会点検・評価書（平成 30 年度事業）	
	1 教育委員の活動評価	4
	(1) 概要	
	(2) 名簿	
	(3) 教育委員の活動状況	
	(4) 教育委員の活動自己評価	
	2 教育長への委任事務評価	
	点検評価対象事業一覧	6
	(1) 社会教育（No.1～No. 5）	
	(2) 文化芸術（No.6～No. 8）	
	(3) 学校教育（No.9～No.15）	
	資 料	
	1 議案等一覧	(1)
	2 教育委員の活動状況	(4)
	3 教育長の活動状況	(9)

点検・評価を終えて

I 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成 18 年 12 月の教育基本法の改正及び平成 19 年 3 月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成 19 年 6 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成 20 年 4 月から施行されました。

地教行法改正の趣旨の大きな柱のひとつが「教育委員会の責任体制の明確化」であり、その趣旨に沿って今回の点検評価制度が導入されたものです。

これに伴い、教育委員会はその権限に属する事務について、点検・評価を行うことが義務づけられ、さらにその結果を議会に提出し、公表しなければならないこととされました。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した合議制の執行機関であり、学校教育、社会教育、文化、スポーツ等の幅広い教育に関する事務を所掌しておりますが、この所掌する事務が適正かつ効果的に執行されているかどうかについては、自らが事後にチェックすることが重要であると考えられました。

今回の地教行法の改正に伴う点検・評価制度の導入により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、その結果を議会に提出し、公表することで市民の皆様への説明責任を果たします。

3 学識経験者の知見の活用

これは、点検・評価の客観性を確保するためのものです。活用の仕方については、評価の方法や結果について教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取する機会を設けるなど、各教育委員会の創意工夫により対応することとなります。

4 点検・評価の方法

点検・評価の具体的な方法について、国が基準を定めることはありません。点検・評価の項目や指標、議会への報告や公表の方法などについては、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとなります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成 20 年 4 月 1 日施行）

II 本市教育委員会の点検・評価の方法

1 点検・評価の対象とする事業

教育委員会の点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により「教育委員会自ら管理・執行する事務」と「教育委員会から教育長に委任されている事務」となっております。

教育長への委理事務については、義務的、経常的なものを除き、重点施策と位置づける事業について行うこととし、令和元年度は 15 の事業を精選し、点検・評価を行いました。

2 点検・評価の様式について

点検・評価の具体的な方法については、国は定めないということは、前述したとおりですので、様式についても各教育委員会で定めることとなります。

「教育委員の活動」については、本市が昨年度より新教育委員会制度へ移行したことに伴い、昨年度までの評価方式を改め、新制度の趣旨に沿って4つの項目について自己評価を行いました。

「教育長への委理事務」については、昨年度の様式とほぼ同様の様式となっており、事業の自己評価に対する有識者の意見を付しております。

3 点検・評価書の見方

(1) 「教育委員の活動」

一年間の教育委員の活動を3段階評価で自己点検しました。

(2) 「教育長への委理事務」

①「事業名」は、原則として予算上の事業名を引用してあります。

②「事業概要」は、各事業の概要を簡潔に記載してあります。

③「内部評価」は、下記の指標に基づき自己評価を行いました。

④「外部評価」は、各分野の有識者の意見を付しております。

※自己評価配点基準

1 必要性・・・教育委員会が実施すべき範囲として				
・適切→3点	・概ね適切→2点	・やや不適切→1点	・不適切→0点	
2 有効性・・・予定された実績、成果を得るのに				
・有効	→3点	・概ね有効	→2点	
・あまり有効でない	→1点	・有効でない	→0点	
3 効率性・・・投入した経費等が原資に見合う				
・実績を出している	→3点	・実績を概ね出している	→2点	
・実績をあまり出せない	→1点	・実績を出せない	→0点	
4 優先度・・・本事業が他に比べて				
・優先度がある	→3点	・概ね優先度がある	→2点	
・あまり優先度がない	→1点	・優先度がない	→0点	
5 総合評価	A→総合点 10 点以上	B→8～9 点	C→6～7 点	D→5 点以下

4 学識経験者の知見の活用について

この点検評価を開始した平成 20 年度の最初の有識者会議において有識者の方から各々の専門分野を生かすため、各有識者がそれぞれの専門分野に係りの深い部について意見を述べるのがよいのではという提案があり、以後、同様の手法を採用しております。教育委員会の各部が自己点検・評価したものに対して、意見を述べていただきました。

「点検・評価に関する有識者」名簿 (五十音順・敬称略)

氏 名	専門分野 (主な活動等)	担 当
栗 森 弘 政	文化芸術 (歴史ガイド)	教 育 部
大 城 喜 江 子	社会教育 (まちづくりうらそえ代表)	教 育 部
銘 苅 健	学 校 教 育 (元校長)	指 導 部

浦添市教育行政の「点検・評価に関する有識者」に関する要綱

(設置)

第 1 条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (昭和 31 年法律第 162 号) 第 26 条の規定に基づき、教育に関する事務の点検及び評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検・評価に関する有識者 (以下「有識者」という。) を置く。

(委嘱等)

第 2 条 有識者は、教育に関し学識経験を有し、教育活動に熱意のある者の中から、教育委員会が委嘱する。

2 有識者の任期は、当該年度における点検・評価に係る業務の終了時までとする。

(業務)

第 3 条 有識者は、次に掲げる業務を行う。

(1) 教育委員会が実施した点検・評価に関し意見を述べること。

(補則)

第 4 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成 21 年 1 月 29 日から施行する。

この訓令は、平成 27 年 5 月 19 日から施行する。

Ⅲ 教育委員会点検・評価書

1 教育委員の活動評価

(1) 概要

浦添市教育委員会は教育長と4人の教育委員で組織されています。教育委員は、毎月1回の定例会と必要に応じ、臨時会へ出席し、付議された案件について、審議等を行っています。また、学校や地域行事等への積極的参加や、教育委員会連合会を通して、他市町村教育委員会の情報収集や教育行政に関する諸問題を研究討議し、浦添市の教育行政の発展のために努めています。

(2) 名簿

平成31年3月31日現在

役職名	氏名	任期
教育長	嵩元盛兼	平成29年5月31日～令和2年5月30日
職務 代理人	池田博暁	平成27年4月1日～平成31年3月31日
委員	長田隆子	平成28年10月1日～令和2年9月30日
委員	池間生子	平成29年4月20日～令和3年4月19日
委員	下地イツ子	平成30年10月1日～令和4年9月30日

(3) 教育委員の活動状況

	内容	件数
1	教育委員会の会議(定例会・臨時会)	19
2	総合教育会議	3
3	教育委員の資質向上(研修会・勉強会等)	20
4	学校訪問	16
5	各学校行事(儀式・体育行事等)	11
6	各種行事(式典・大会等)	42
7	会議等	16

(4) 教育委員の活動自己評価について

平成 29 年度から新教育委員会制度に移行したことを契機に、教育委員会活動評価については、昨年度より新たに新教育長へのチェック機能も評価項目として加え、各活動評価についても項目ごとに A B C の評価基準を設けた自己評価方式に変更したところです。評価にあたっては、教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保を重視しつつ、教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長との連携の強化等を基本に踏まえて評価を行いました。

		＜評価基準＞		
		A：よくできた	B：できた	C：不十分
項目	内 容			評価
教育委員会の会議について	1	方針の決定や執行にあたって公正公平性・継続安定性は確保できたか。		
		○常に公正公平性を心がけ会議に臨んだ。		
	2	議案の決定は十分な時間や資料等を確保しスムーズに審議することができたか。		
○議案によっては、事前の情報収集や検討にかかる時間が不十分であった。				
3	議案の審議にあたって合議制は十分に機能したか。			
	○各委員の建設的な意見交換の中で合議制が保たれた。			
地域住民の意向の反映について	1	学校訪問を通して、学校教育の現状を把握したり、適切な指導助言が行えたか。		
		○全小中学校を訪問することで、現状・成果・課題を把握することができた。 各学校の特色ある取り組み（創意・工夫）を評価することができた。		
	2	社会教育行事・各種行事等へ参加し、現状把握することはできたか。		
		○各種行事に参加することで、本市の市民の生涯学習や文化・スポーツ活動のひろがりに触れることができたが、現状や課題の把握については不十分であった。		
	3	外部評価の点検・評価は適切に行われ、スムーズに議会や市民へ報告・公表できたか。		
		○9月議会への報告及び本市ホームページで公表した。		
教育長について	1	教育長は重要な審議事項や重点課題などの進捗・執行状況などを効果的に報告したか。		
		○定例の教育委員会会議においての報告以外にも教育長への委任事務の事務進捗状況等についての報告がなされた。		
	2	会議の透明性のため、原則として、会議の議事録を作成・公表することができたか。		
		○会議の議事録はきちんと作成できているが、市ホームページでの公開等、市民へ開かれた積極的な開示までは至っていない。		
		○教育委員が日頃関心をもっている教育課題が議題として取り上げることができた。		

2 教育長への委理事務評価

点 検 評 価 事 業 一 覧

No.	分野	事業名	担当課	自己評価				総合評価
				必要性	有効性	効率性	優先度	
1	社会教育	社会教育推進事業	教育総務課	3	2	3	3	A
2		放課後子ども教室推進事業	教育総務課	3	3	2	2	A
3		公民館運営事業	公民館	3	2	2	3	A
4		体育施設運営事業	文化スポーツ振興課	3	3	3	3	A
5		地域資料(浦添・沖縄)活用事業 (又吉栄喜文庫の運営)	図書館	3	3	3	3	A
6	文化芸術	文化振興事業	文化スポーツ振興課	3	2	3	3	A
7		地域資源復元推進事業	文化財課	3	3	3	3	A
8		悠々ロマン漆に会うまち浦添推進事業	美術館	3	3	2	3	A
9	学校教育	小学校教育振興事業	学校総務課	3	3	3	3	A
10		学力向上対策事業	学校教育課	3	3	2	3	A
11		学力底上げ推進支援事業	学校教育課	3	3	2	3	A
12		中学生海外短期留学生派遣事業	学校教育課	3	3	3	3	A
13		浦添市・泉州市小中学生交流事業	こども青少年課	3	3	3	3	A
14		適応教室適応指導員配置事業	教育研究所	3	3	3	3	A
15		学校給食費補助金交付事業	学校給食共同調理場	3	2	2	2	B

※自己評価配点基準 【各項目】 3点(適切等)～ 0点(不適切等)×4項目

【総合評価】 A(10点以上)・B(8～9点)・C(6～7点)・D(5点以下)

教育委員会点検・評価書(平成 30 年度実施事業)

No.1	事業名	社会教育推進事業	担当課	教育総務課	
事業概要	生活の向上や自己実現をめざす市民に学習の場を提供し、自発的・主体的な学習活動への支援を行う。また、社会教育関係団体の育成及び活動支援を行うことで、地域社会活動の活性化を促し社会教育の推進を図る。				
内部評価			有識者：大城 喜江子 氏		
区分	評価	総合	説明等	意見	
1	必要性	3	成果： <ul style="list-style-type: none"> ・当課で企画し提供する講座と市民が共通課題解決のために自主企画・運営する応援講座との相互学習によって地域・家庭教育力の向上に資することができた。 (1)あなたに伝えたい市民講座 6回開催 <u>延べ人数 428名</u> (2)市民のまなび応援講座 18グループ 学習回数 57回 <u>延べ人数 1,142名</u> ・学びを通じたシニア世代の仲間づくりの場であり、地域社会活動の担い手となる人材の育成を図ることができた。 (3)浦添市てだこ学園大学院運営業務委託 講座科目：55（1年次）59（2年次） 卒業生 35名（延 1,137名が卒業） ・補助金を交付することで団体活動の充実及び社会教育活動の推進が図られた。 (4)社会教育関係団体活動の支援 浦添市 PTA 連合会 1,245千円 浦添市婦人連合会 1,220千円 	<p>「市民のまなび応援講座」のネーミングは分かりやすく、応援してくれる！と喜ばしく響きが良い、また「あなたに伝えたい市民講座」は、テーマをもって現在の課題に向けた市民へ向けての講座になっている。市民主体の地域課題の講座と社会の必用課題に合わせた双方向の学びの提供は、社会教育法の骨子である、すべての国民（市民）の学習機会の保障に合致して良いと思う。</p> <p>生涯学習社会において、てだこ市民大学、及びてだこ学園大学院に、市民意識を持った方々が受講されていることは誰しも認識していることであるが、卒業後の活躍が課題であることをよく耳にする。生涯学習理念の「学んだことが適切に生かすことのできる社会の実現」においては、取り組みが充分ではないように思われる。「まちづくり生涯学習推進基本計画」に市民活動支援センター（仮称）の設置とあるように、卒業後にすぐりむんや、名人さんとして認定して登録するなど、活動情報の提供のできる、集える拠点が必要ではないか。</p> <p>浦添市に限らず多くの市町村においても婦人会の高齢化は大きな課題（問題）である。婦人会に入らない、入れないなど若い主婦の方々のヒヤリングを行い、若者から学び、本腰を入れた改善策が必要ではないだろうか。</p> <p>提示された課題や、今後の方向性を読む限りに、学校教育と社会教育の連携や学校、家庭、地域の連携という言葉は、数十年も前から言われている。何年も解決されない課題には、専門性のある社会教育主事の資格を有する職員の不足はないだろうか。学校教育と社会教育をどのように繋げるのか、活躍したい人の活躍場所をどのようにつくっていくのか、具体的に具現化できる人材が必要に思われる。</p>	
2	有効性	2			A
3	効率性	3			課題： <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを家庭や地域に還元する地域社会活動に繋がるよう努める。 市民のニーズを把握し、効果的な学習機会の提供に努める。
4	優先度	3			今後の方向性： <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・学校・地域における教育力の向上を目指し、学校教育と社会教育の緊密な連携・協力を図る。 ・各小学校区域に1つ以上の学習グループを目標に事業の周知を図る。また、学んだことを家庭、地域社会で活かす「学びの循環」を目指す。 ・婦人連合会に関しては会員の減少・高齢化が進んでいる。活動状況を広く紹介し、新規会員の募集や団体活動の見直しを含めた指導助言を実施しながら共に考え支援していきたい。

教育委員会点検・評価書(平成 30 年度実施事業)

No. 2	事業名	放課後子ども教室推進事業			担当課	教育総務課												
事業概要	放課後や週末等に、地域の方々の協力を得て、子どもたちと共に学習やスポーツ、文化活動及び地域住民との交流活動等の取組みを実施することにより、子どもたちが安全・安心な地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。																	
内部評価					有識者：大城 喜江子 氏													
区分	評価	総合	説明等			意見												
1	必要性	3	成果： 地域の方々の協力のもと、子ども達に学習機会や文化活動等を提供することができた。活動の中で異年齢交流をすることで、子ども達の協調性が生まれ、友達の輪が広がることに繋がった。また、地域の大人と子ども達との顔の見える関係が構築できた。			色々な制約の中で担当職員と、その事業のコーディネーターを担っている方々が、頑張っていることが伺われる。ほとんどの小学校に開設されていて、放課後の安全と安心が保たれていると思われる。しかし、年々参加人数の減少がみられるのは、少子化の問題があるのだろうか。「放課後子ども総合プラン」においては、児童クラブとの連携・協力がうたわられていて、学校に限らず子どもに関わる場所で、子ども教室ができるのは良いと思う。 どの団体でも問題になることが、次へのバトンタッチである。「コーディネーターを引き継いでくれる人がいない、バトンタッチのお願いが言えない」というのを、コーディネーターの方から聞くことがある。その理由に、コーディネーターという専門性があり相当な時間を費やしたとしても、その成果が対価にならなくては、他者に進められないという。予算のこともあるだろうが、今後考えていく必要のある問題ではないだろうか。コーディネーター同様、ボランティア不足もあげられるが、お手伝いをしてくださる方々の、やって良かったという達成感と充実感、役に立っているという満足感を積み重ねる場面を、いかに提供して感じてもらうか、そしてその体験と心地よさを、ボランティアの方が自身の友人や仲間を誘ってくるという、サイクルがつけられていくと良い、ボランティアの新規開拓も良いが、それぞれの潜在意識にある役立ちたいを發揮していただくための育成も必要に思う。文科省の学びと、子どもたちを支援していく厚労省の福祉が繋がった事業は、地域づくりがベースで、地域で子育てができるようにという正に学校、家庭、地域の協力の具現化を考えた事業であることの意味は大きい。												
2	有効性	3																
3	効率性	2	A	課題： <ul style="list-style-type: none"> ・教室によっては活動を支えるボランティアの数が足りないところもあり、継続して協力してもらえるボランティアの確保が必要である。広報活動のほか、てだこ市民大学や家庭教育学級の卒業生を活用するなどしていきたい。 ・小学校区によって教室数に偏りがあるため、開設教室が少ない地区の学校や自治会に積極的に働きかけ、新たな教室の開拓へ繋げたい。 ・H26 年度からは放課後児童クラブ(学童)との連携・協力を推進する「放課後子ども総合プラン」が始まっているため、一体型教室を設置するという目標に向かって、今後学童所管課と綿密に連携・協力していく必要がある。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">H28</th> <th style="text-align: center;">H29</th> <th style="text-align: center;">H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">実施教室数</td> <td style="text-align: center;">22</td> <td style="text-align: center;">24</td> <td style="text-align: center;">22</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ボランティア数</td> <td style="text-align: center;">1,897</td> <td style="text-align: center;">2,172</td> <td style="text-align: center;">1,661</td> </tr> </tbody> </table>				H28	H29	H30	実施教室数	22	24	22	ボランティア数	1,897	2,172	1,661
	H28	H29	H30															
実施教室数	22	24	22															
ボランティア数	1,897	2,172	1,661															
4	優先度	2	今後の方向性： 放課後子どもプランの更なる充実をめざし、一体型の設置に向けた連携・協力を推進する。また、全小学校区において、教室開設を目指し、既存の教室もボランティアの新規開拓や活動内容の充実を目指す。															

教育委員会点検・評価書(平成 30 年度実施事業)

No.3	事業名	公民館運営事業	担当課	中央公民館
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生涯学習の支援や、学びの場を提供するため公民館講座を開催する。 ・社会教育関係団体等の活動の成果を地域に還元していけるよう支援を行うと共に、社会教育施設としての機能を充実させる。 ・自治公民館を学習の拠点として活用し、市民の学びと地域課題解決に向けた取り組みとして、自治公民館講座を開設する。あわせて、自治公民館の活性化と中央公民館との連携を図るためのネットワークを構築する。 			
内部評価			有識者：大城 喜江子 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座を実施することにより、市民の知識と教養の向上および、仲間づくり・健康づくり等、地域コミュニティーの形成に役立った。 21 講座（全 59 回）参加人数 2,709 名 ・公民館を拠点とする社会教育団体等が学習で培った技術や知識を地域活動や公民館以外のイベント等での活動に広げ、地域社会へ積極的に還元する姿勢が徐々に広がっている。 (参考 H29 実績 34 団体 111 回 798 名) ・自治公民館講座を開設することで自治公民館活動の活性化および中央公民館と地域の連携強化に繋がっている。 22 自治公民館 37 講座（全 111 回）参加人数 1,359 名 <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの成果を地域活動へ還元できるような社会教育活動の運営が図れるよう努める。 ・講座を実施できていない自治公民館もあり、全ての自治公民館が開催できるよう努める。 <p>今後の方向性：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施した講座の評価、改善を行い、地域や時代に即した講座の運営に努める。 ・社会教育団体としての役割・認識を高めるため、地域活動への参画と学習成果の還元を促すような指導者の育成および団体活動の運営の充実が図れるよう指導・助言していく。 ・自治公民館との連携を強化し、自治公民館活動の更なる活性化や講座の充実を図るため周知・支援する。 	<p>公民館利用者は比較的年齢の高い方々が多いが、将来の利用者の種蒔きとして、慰霊の日に向けた平和キャラバンを小学校ごとに行ったのは良いと思う。その講座を受けた子たちを小学生平和ガイドとして育成していくのはどうだろうか。年度ごとの単発的な講座だけでなく、長期的な視点で、青少年を育成していく特色ある公民館づくりになるのではないか。</p> <p>「かぎやで風完全マスター講座」は、結婚式や祝いの場で披露される琉球舞踊、学んだことを地域のイベント等に生かす講座として最適である。多くの方々に喜ばれ、マスターした本人の達成感になり、それがまた、何か役立ちたいという、次の意欲になるサイクルをつくっていくのが、地域づくりの基本の仕掛けになっていく。</p> <p>自治公民館講座は高齢化社会に向けての地域課題であったり、交流であったり、地域を盛り上げるための講座であったりと地域性の分かる、地域の特色が生かされた講座であることがうかがえる。公立公民館と自治公民館の機能と役割は大きく違うが、学びの成果を地域に生かすことは同じである。公立公民館において、学校教育のようなカリキュラムのない社会教育は、講座を作り上げていく職員の資質と人柄が問われるといわれている。市民に学びを提供するには、職員がより多くの学びを先駆けて行っておく必要があるであろう。地域課題、社会課題に敏感になり、何のための講座なのか、何を学んで欲しいのかの確かな目的が、深みのある講座を作り上げていくのではないかとと思う。</p>
2	有効性	2		
3	効率性	2		
4	優先度	3		

教育委員会点検・評価書(平成 30 年度実施事業)

No.5	事業名	地域資料（沖縄・浦添）活用事業 （又吉栄喜文庫開設運営）	担当課	浦添市立図書館
事業概要	平成 29 年度(9/30)より、浦添出身の芥川賞作家・又吉栄喜氏の特別文庫「又吉栄喜文庫」を開設・公開している。氏の作品原稿や収集資料は、氏の文芸活動のみならず、戦後の浦添が歩んできた歴史や、戦後沖縄の文学・思想活動を知りうる貴重なものである。平成 30 年度に入り、又吉栄喜文庫開設一周年展(9/29～10/28)を実施する中、昨年の『一すべては浦添からはじまったー』開設記念トークショーの冊子を発刊、関係者・機関へ配布している。また、2/20～4/20「小説、『仏陀の小石』の世界」展を開催(2321 人来場)している。			
内部評価			有識者：栗森 弘政 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	<p>成果： 特別文庫の設置により、浦添に生まれ育ち、地域に根ざした作品を発表してきた又吉栄喜氏という作家の存在を市内外へ広く知らしめ、文化の創造・発信に寄与している。</p> <p>芥川賞作家である氏の作品の舞台の原風景が「浦添」であることで、地元にと愛着を感じる。</p> <p>1995 年第 114 回芥川賞受賞作『豚の報い』の韓国語訳出版記念ワークショップが 2/12 琉球大学人文社会学部琉球アジア文化学科呉世宗准教授の研究室で開催され、市内外は勿論、氏を研究する方々が又吉栄喜文庫を訪れるようになり国外へも魅力を発信している。また、氏は図書館主催「うらそえ Y A 文芸賞」審査委員長を務めている。今後「作家を志す若者たち」に活用してもらい、その創作活動を啓発するきっかけとなると思われる。</p> <p>氏の原稿や作品の初出掲載誌（紙）は、今後も引き続き、作家・作品研究において役に立ち、更には氏の作家の視点や作品の原風景の理解に繋がり、実際に使われたワープロ等の道具や収集されたモノ資料の寄贈もあり氏の人となりをも感じてもらえる文庫となった。</p>	<p>国内外で高く評価されている芥川小説家、又吉栄喜特別文庫開設（平成 29 年 9 月）から 2 年が経過している。浦添市出身の作家として特異な存在である。芥川賞受賞作品の「豚の報い」は、世界五か国で翻訳され、国内では映画化されている。</p> <p>又吉文庫が浦添市立図書館に開設され、これからますます上昇気流に乗るであろう。そろそろ文庫開設の本来の意義が現れることになるのではないだろうか。</p> <p>生粋の浦添っ子である。住まいから約半径 2 キロの範囲にある原風景が、創作活動のすべての素材、または舞台である。表現の多彩さ、大きさ、どんどん掘り下げる、掘り起こす、しかも虚構（フィクション）は宇宙レベルに広がってとどまることがない。才能である、天性である。これが斯界の人たちの羨望的となる要素があり、これから益々注目されるであろう。</p> <p>又吉文庫が開設され、平成 30 年 8 月には、又吉氏の作品研究している中国、韓国、研究者、大学院生が、平成 31 年に韓国の研究者 3 名文庫が見学に訪れている。また、琉球大学にて『豚の報い』韓国語訳出版記念ワークショップが開催されるなど、運営の形も変化があり、課題も設けて文庫充実に励んでいる様子が窺える。</p> <p>又吉栄喜文庫は文庫を預かる職員の叡智と努力、そして市民の温かい愛情により、ゆっくりと確実にその成果を積み重ねていくと確信した。この空間が浦添の人々を中心に、或いは斯界の人々の行き交う場所となればと・・・じっくり構えて質の高い文庫になるように精進を願う。</p> <p>浦添市立図書館が活気に満ち溢れ浦添文芸が活性化し、次なる新人作家の誕生に大いに刺激となるであろう。第二の作家又吉栄喜が誕生するのもそう遠くないような気がする。</p>
2	有効性	3	A	
3	効率性	3	<p>課題：今後の又吉栄喜文庫の運営方法を引継ぎ確認、整備していく。更なる活用に向けて、寄贈目録の整備を行う。（資料登録方法など）</p>	
4	優先度	3	<p>今後の方向性： 今後も、資料の寄贈を受け、充実した文庫を目指す。節目に周年事業を実施し、更なる発信・周知・活用を促す。</p>	

教育委員会点検・評価書(平成 30 年度実施事業)

No.6	事業名	文化振興事業	担当課	文化スポーツ振興課
事業概要	文化振興団体の浦添市文化芸術振興事業実行委員会、浦添市文化協会、浦添市こども文化連盟「太陽樹」に補助金を交付し、市民が気軽に文化芸術に触れる、参加できる環境づくりを行う。 ① 浦添市文化芸術振興事業実行委員会・・・浦添市文化芸術振興事業長期計画に基づき5事業を展開し地域の方が参加できるような事業の展開を図る。 ② 浦添市文化協会・・・各専門部会に分かれ市民へ多様な文化芸術を披露し、文化振興の高揚に努める。 ③ 浦添市こども文化連盟「太陽樹」・・・子ども達が活動を通して、お互いに連携・協力・交流する場でありつつ更に文化芸術を学び、披露することで青少年の健全育成と文化の発展に寄与する			
内部評価			有識者：栗森 弘政 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	成果： ① 浦添市文化芸術振興事業 ・第5回浦添市小中学生音楽コンクール (受験者 小学生 個人 77名 団体 10組) (受験者 中学生 個人 18名 団体 0組) ・浦添市民音楽祭 第1部 第5回浦添市小中学生音楽コンクール表彰式・昭和薬科大学附属高等学校中学校吹奏楽部による演奏 第2部 沖縄交響楽団による演奏 ・演劇創出事業ミュージカル「尚寧王」 出演者 小学生から一般まで 72名 ・村まわり組踊 浦西自治会にて開催 来場者数 108名 ・気軽にクラシックコンサート 牧湊・浦添市市街地住宅共同開催 (来場者 63名) ・浦添ハイツ自治会 (来場者 80名) ② 浦添市文化協会 ・市の主催事業への協力(9月中国泉州市との友好都市締結30周年記念式典 10月てだこまつり等)自主事業の文化祭、講演会の開催など ③ 浦添市こども文化連盟 ・加盟団体それぞれが市の事業へ協力、自主事業の開催など事業概要に沿った事業の展開を行った。 課題： 市民がより参加意欲が高まるような事業となるようさらに工夫を図っていく。 今後の方向性： 事業開催についての広報活動をさらに行い、市民の参加を促し、多くの市民が文化芸術にふれる機会が持てるよう工夫・検討していく。	平成 30 年度文化振興事業は、浦添市小中学生音楽コンクール、浦添市こども文化連盟まで多種多彩な事業を展開している。(左項内部評価説明参照)。 事業の数でみるとかなりの数をこなしていることがわかる。ミュージカル「尚寧王」準備期間も長く出演するスタッフや子供たちの体調管理や学業にも腐心していただいていることに頭が下がる。 村まわり組踊は、同一自治会での2年連続開催にもかかわらず大変好評であったようだ。しかし、開催希望自治会が少ないせいであろうか、2年連続同一自治会での開催となっているのが気になるところだ。他の自治会でも持ち回り(村まわり)で組踊が実施され、多くの市民が300年前の沖縄の古典楽劇に触れ感動を共有してほしいと願う。 「気軽にコンサート」も然りで、小さなスペースならではの良さがあり、クラシック音楽が身近に鑑賞できるとあって評価も高い。コンサートの名称通り、市民が気軽にクラシックに触れる機会を作り感動を味わってほしいものだ。 浦添市文化協会、子供文化連盟の活動は素晴らしい。多彩な人材があり、組織の発展が浦添市の文化事業の活性化に多大な貢献をしている。文化振興事業に携わる関係者の真剣度を垣間見たところで申し分ない。文化振興事業の活動の充実は、行政の協力体制が重要と思われる。 多くの市民参加により文化振興が活性化することは、てだこのまちうらそえの文化的経済的な向上に貢献するものであり、引き続き、真摯な取組みが期待される。 モノレールの開通による浦添市への人口の流入が浦添市の文化行政の取組みになお一層の発展前進を約束するものとなるであろう。浦添市の更なる文化振興への期待は大きい。
2	有効性	2		
3	効率性	3		
4	優先度	3		

教育委員会点検・評価書(平成 30 年度実施事業)

No. 7	事業名	地域資源復元推進事業	担当課	文化財課
事業概要	<p>沖縄の歴史的な景観を再生し、沖縄らしい風景づくりを推進することにより、文化・観光資源の振興を図る。そのために、地域に所在する市指定文化財や歴史の道中頭方西海道のルート整備などを行う。</p>			
内部評価			有識者：栗森 弘政 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	<p>成果： 歴史の道中頭方西海道(経塚地区)で石畳舗装敷設整備工事を実施した。整備に際しては、浦添市文化財調査審議会の審議内容を踏まえ行った。また、市指定無形民俗文化財勢理客の獅子舞説明板(英文付)の設置を行った。 これによって歴史の道のルート表示整備が前進し、本市の指定文化財をより広く紹介することができ、歴史と文化の薫るまちづくりを推進することができた。</p> <p>課題： 本市の歴史・文化に関する学習の場として活用するとともに、観光部局や歴史ガイド友の会、地域等と連携を図りつつ観光資源としての活用を更に推進していく必要がある。 また、那覇市や宜野湾市の中頭方西海道との結節を促し広域でのルート整備にも努める。</p> <p>今後の方向性： 歴史の道である中頭方西海道ルート上の舗装を実施し、飛び地になっている箇所をつなげることで、より沖縄らしい風景づくりを推進していく。本事業では今後、史跡・仲間火ヌ神について実施設計を行い、令和 2 年の修復、完成を目指す。</p>	<p>沖縄の歴史景観を再生し、沖縄浦添らしい風景づくりを推進する事業である。 尚寧王時代、首里城から浦添グスクまで石畳み道(宿道)を造った中頭方西海道の一部である。石畳み道の整備により古の人々の暮らしがイメージしやすくなる。 今回は、中頭方西海道の七番毛(沢岬)からニシヌヒラ手前までの宿道の整備である。 石畳み道(経塚地区)の整備により宿道のイメージが出てきた。イメージが膨らむという感じだ。この海道は松並木の美しい海道だったとのことで、並松道路の復元整備をも議論を始めてはと思うほどである。 ところで、NPO 法人うらおそい歴史ガイド友の会では 11 月 3 日(文化の日)のイベントとして「尚寧王の道を歩く」を実施している。石畳み道の整備復元により、古道、宿道を新たに散策体験することで、想いも新たに感じることもあるのではないだろうか。また、故郷浦添の歴史教育の一助となるであろう。 さて、勢理客の獅子舞の説明板(英文付き)では、昭和 48 年に国選択無形民俗文化財として選定、昭和 56 年浦添市の無形民俗文化財に指定されている。旧暦 8 月 15 日に行われる勢理客の十五夜祭の獅子舞実演は、圧巻である。 英字付き説明版により、外来者、外国人が即座に勢理客の獅子舞が理解できることは魅力である。400 年前にコーレー具志堅という方が伝えたと言われる勢理客の獅子舞は、次代を担う子ども達、地域の方の誇りであり、宝として重宝することであろう。 中頭方西海道一部石畳道の整備、勢理客の説明板ともに歴史教育の学習効果として期待の持てるものであり、外来者(観光資産として)の見学などにも大いに役立つことであろう。 本丸の浦添グスク整備も併せて遺跡・文化財遺産(国指定、選定、市指定)の調査復元整備も加速してほしいものである。</p>
2	有効性	3		
3	効率性	3		
4	優先度	3		

教育委員会点検・評価書(平成 30 年度実施事業)

No.8	事業名	悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業		担当課	美術館
事業概要	沖縄振興特別推進交付金を活用した事業。漆芸の美術館としての特徴を活かした企画展開催や常設展の充実を図るとともに、県内外への情報発信や広報宣伝等を行った。企画展は子ども向けの「きらきらひかる展—世界の輝く宝もの」と「漆芸家シリーズ前田國男展」を開催した。常設展は「発見！アジアの漆ワールド展 新収蔵品展」、「琉球漆芸と JAPAN 暮らしの漆器展」、「福づくし！縁起よしのおめでたい漆器展」のテーマで3回開催した。				
内部評価				有識者：栗森 弘政 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見	
1	必要性	3	<p>成果： 子どもたちが美術や工芸に興味を抱きやすい「光るもの」「輝くもの」にテーマに、国宝や重要文化財をはじめ螺鈿や沈金、蒔絵などの漆芸品を含む国内外の光り輝く約60点の作品を展示し、様々な地域の文化や美術工芸の魅力を紹介した。期間中に講演会やワークショップ等も開催し、観覧者からは「国内外の貴重な作品を見ることができてよかった、子どもにもわかりやすい内容だった」等の声が寄せられた（観覧者 1,747人）。</p> <p>「漆芸作家展」は2週間で454名の来館者があり反響も大変良かった。展覧会後に作家の前田國男氏から作品寄贈もあった。</p> <p>常設展は年に3回テーマを決めて入れ替え、テーマにあわせた美術館講座を8回開催した（常設展年間来館者 5,306人、前年比 +1,816人）。収蔵品関連では2点の作品購入を行った。また、当館や琉球漆器を知るための体験企画としてスタンプラリーやSNSで美術館のフォトスポットを紹介する浦美写真部を始めたほか、HPやFb、広報等で展覧会情報を頻繁に発信しつつ、県内外の交通機関へのポスター掲示、雑誌広告掲載などの広報宣伝も行った。</p>	<p>漆芸の美術館としての特徴を活かした企画展、常設展の充実を図るとともに、県内外への情報発信や広報宣伝等を行っていることを評価したい。</p> <p>子ども達が美術や工芸に興味を抱きやすい企画展「きらきらひかる展—世界の輝く宝もの」では、国宝や重要文化財はじめ螺鈿や沈金、蒔絵など国内外の光り輝くもの60点が展示されている。観覧者によるアンケートにおいて「子供にもわかりやすかった」という結果に顕れているように、本企画展は、発想が素晴らしく、併催の演奏会やワークショップなども併せ魅力が満載で、子どもの学習意欲、興味を喚起する企画となっている。</p> <p>アンケートの回収率も倍増しており、また職員がアンケート結果を重視し企画に取り組んでおり、結果として来館者が増えている。</p> <p>来館者増加の要因のひとつとして広報活動も挙げられる。ホームページ、フェイスブック等のSNSの活用や、チラシ、新聞等を駆使し県外からの来館者も目立つようになっている。アンケートの分析が、来館者数の増加につながり、美術館の運営に大きく影響していることがわかる。</p> <p>アンケート結果では、来館者のうち、女性は56%、男性42%、年齢は40～60代が多数である。居住地は、県内が39%（浦添市32%、那覇市29%、宜野湾、名護市と続く。）、県外37%（大阪21%、東京10%、静岡、神奈川、千葉と続く。）となっている。</p> <p>アンケートは、設問数や設問内容の設定などにより、回収率や効果的な分析につながるかを左右するため難しいところもあると思うが、アンケート分析を継続することで、更に魅力ある美術館の運営へと反映されていくものと思われるので、今後も創意工夫し来館者のニーズ把握に努めていただきたい。</p> <p>今後の方向性は、事務局の評価のとおりでよいと思う。今後の取り組みに期待したい。</p> <p>「漆芸作家展」は来館者からの反響も大変好調とのこと。浦添美術館へ多くの作品を寄贈された前田國男氏の篤い志に対し深く敬意を表したい。</p>	
2	有効性	3	<p>課題： 来館者のアンケート回答率がH29年度は3%未満であったがH30年度は20%を超えた。引き続き、館の満足度等の情報等を得るためにアンケートの回答率をあげる工夫が課題である。</p>		
3	効率性	2	<p>今後の方向性： 誰もが訪れやすく親しみの持てる美術館をPRしたい。子供から大人まで興味を持てる展示テーマや講座の実施、美術館に来てできるしおり作りや漆スゴロクなどの体験企画を充実させ、漆芸への関心と館満足度を高めた。</p>		
4	優先度	3			

教育委員会点検・評価書(平成 30 年度実施事業)

No. 9	事業名	小学校教育振興事業		担当課	学校総務課
事業概要	小学校教材備品等の整備に係る事業（図書館用図書含む）。 授業に必要な備品等を整備することにより、学習効果の向上を図る。 理科備品については、国庫補助金（理科教育設備整備費等補助金）を活用。				
内部評価				有識者：銘苺 健 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見	
1	必要性	3	<p>成果: 授業に必要な備品等の整備のため、各学校の希望調査を行い、理科備品、視聴覚備品、体育備品、その他、一般教材備品を購入し、学習効果の向上に努めることができた。</p> <p>理科備品については、国庫補助金を有効に活用することで、市の財政負担の軽減になった。</p> <p>図書館用図書の購入については、各学校配当予算執行率がほぼ 100%であり、図書館の環境整備に努めることができた。</p> <p>文部科学省が定める「学校図書館図書標準冊数」も 11 校中 10 校がクリアしており、残り 1 校も僅差である。</p> <p>課題: 各学校の要望すべてに応えることは、予算の関係上、厳しいのが現状である。</p> <p>今後の方向性: 国庫補助金を今後も活用し、計画的な必要備品等の整備を継続していく。</p>	<p>本市の全学校において教師の授業力向上をめざし、指導の工夫改善が求められている。教育活動において指導力を上げ、授業改善を図るためには教師の指導力と備品等の環境整備が必須である。本市においては、年度初めに各学校で教育活動に必要な備品の要望調査を行い、現場から必要とする備品を確認して購入している。その為に購入される備品は、現場における教育活動の教育効果の向上を補填している。また、一般教材備品をはじめ体育や図画工作等の教材備品、視聴覚備品などの備品は、教育活動に大きく貢献すると共に教師の指導の工夫改善にも繋がっている。特に理科教材備品に関しては、理科教育の振興を図り国庫補助金が活用されているので、各学校とも備品の充足率は向上している。補助金の有効活用により現場の充実と共に市の財政負担の軽減が図られ市予算の健全化も図られていることは担当課の効率的な事業運営である。図書館用図書においては、ほとんどの学校において整備が進み、標準冊数に届く環境は、児童が本に触れる機会が増え、読書冊数の向上により、本好き児童が育成されている。このことは、学習指導要領国語科における三本柱の「学びに向かう力、人間性等」における「低学年の『楽しんで』、中学年の『幅広く』、高学年の『進んで』読書する態度を養う」を効果的に推進することができると確信できる。</p> <p>課題としては、各教材の必要備品の充足率の向上であるが、限られた予算の中ですべての要望に応えることは難しいので、今後とも各学校の実情と照らし合わせ、喫緊の課題に即した備品など、現場と連携した備品整備を進めることが望まれる。また、各学校においては、現有備品を最大限に活用した学習活動が図られることを期待する。</p> <p>今後は、各学校において備品によっては、単年度の備品購入計画と共に長期的な購入計画を立てることで学習活動の見通しが立ち、併せて効果的な予算活用が図られると思慮される。</p>	
2	有効性	3			
3	効率性	3			
4	優先度	3			

教育委員会点検・評価書(平成 30 年度実施事業)

No.10	事業名	学力向上対策事業		担当課	学校教育課
事業概要	<p>市内幼児・児童・生徒の学力向上実現のために以下の事業を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> 『学力向上推進要項』を作成し、学力向上推進委員会議・学力向上推進専門部会を開催する。</p> <p><input type="checkbox"/> 『浦添市学力向上推進実践報告書』を作成・配布し、各幼稚園・小中学校、家庭・地域、関係各課・機関における学力向上マネジメントのPDCAサイクルを意識した取組につなげる。</p> <p><input type="checkbox"/> 中学校において、英語検定受検生徒及び漢字検定受検生徒へ検定料の半額補助を行う。</p>				
内部評価				有識者：銘苺 健 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見	
1	必要性	3	<p>成果：</p> <p>(1) 学力向上推進委員会、専門部会を開催 <input type="checkbox"/> 学校、PTA、地域関係者、教育委員会関係者を対象に、H29～H31 の3カ年計画で示された本県教育施策を踏まえて新たに作成した『浦添市学力向上推進要項』3カ年計画における取組の重点「授業改善」「学習を支える力」の育成、教育委員会関係各課・関係機関が取り組む事業等について共通理解を図った。</p> <p>(2) 『浦添市学力向上推進実践報告書』を作成し、浦添市内全幼小中学校・関係各課へ配布 <input type="checkbox"/> 『浦添市学力向上推進実践報告書』を発行し、各学校や関係課へ配布し、平成30年度の実践を振り返り、その課題から次年度の授業改善に向けた取組計画へつなげることができた。</p> <p>(3) 中学校における英語検定・漢字検定受検者への受検料の半額補助 英検受検者数： 609 人 漢検受検者数： 555 人 合計補助金額： 1,832,900 円</p> <p>課題等：</p> <p>(1) 浦添市学力向上推進計画リーフレットを、浦添市内の幼小中学校の全職員だけでなく及び保護者、地域の方々へわかりやすく周知するとともに、さらに学校・家庭・地域・行政が協働していく具体的な取組を重点化し示していく必要がある。</p> <p>(2) 『浦添市学力向上推進実践報告書』の内容を吟味し、校内研究と学力向上推進が連動した形でのまとめ方の工夫を行い、各中学校区の実践を全ての中学校区で共有し、取組の改善に生かしていく必要がある。</p> <p>(3) 英語検定・漢字検定の補助活用者数の増。</p> <p>今後の方向性：</p> <p>(1) 「知」「徳」「体」のバランスよい発育を促し学校、家庭、地域、行政が学力向上推進7つの取組を意識した実践を連携、継続していく。</p> <p>(2) 「学習を支える力」を育む共通実践事項を徹底し、授業実践を積み重ねる全校体制を構築していく。</p> <p>(3) 英語検定・漢字検定に加え、数学検定も補助に含めていくことになり、効率的で、効果的な補助活用を進めていく。</p>	<p>本市の学力向上推進事業は、市学力向上推進計画の下、推進委員会が組織され、学校現場の学校教育推進部と保護者・地域・行政・各種団体が構成する家庭・地域教育推進部があり、全市を挙げての取り組みがなされていることが事業推進に繋がっている。県の学力向上推進プロジェクトを受け、本市の独自の学力向上推進要項が作成され、これに基づいて全校（幼・小・中）が共通理解を図り、同じ方向にベクトルを合わせていることが、取り組みの特徴である。そのことから、小中が連携しこれまでの課題から共通実践事項を確認し、日々の教育活動に反映されていることが大きな力となり本市全体の学力が向上している。また、教師の授業力を上げ、授業改善による「確かな学力」の向上を図るために本市独特の「学力向上推進7つの取り組み」を各学校が共通実践しており、教育委員会と各学校現場が思いを一つにしていることが教師力の向上と児童・生徒の学習活動の充実が図られている。その為、学力の指標の一つである全国学力・学習状況調査においては全国平均を上回る学校が増えており、県到達度調査においても県平均を上回る結果が出ていることは、これまでの取り組みの成果といえる。その為、日々教育活動に専念し、子どもと向かい合う現場教師の負担を少しでも軽減するために、「浦添市学力向上推進実践報告書」を各学校に配布し、授業改善の具体的な実践例があることは授業力向上に役立ち教師の負担減に繋がっていくものと思われる。</p> <p>今後も、教師の負担減になるような創意工夫も必要である。また、総合的な学力の向上を図るためには、学校だけの取り組みでは厳しいものがあるので、保護者・地域・各種団体等が連携することで挨拶や言葉遣い、整理整頓などトータル的な学力が身につくものである。よって、今後も増々学校と地域との連携が大きな力となると思われる。</p> <p>そして、中学生を対象とした英語・漢字の受験料半額補助事業は、生徒の意欲を喚起し日々の授業にもよい刺激となっているので、今後も継続していくことが望まれる。併せて希望者には全員補助ができるよう財源の工夫が必要である。</p> <p>今後も本市の学力向上推進を図るためには、学校・家庭・地域・行政との円滑な連携が必須であり、進め方は学力向上推進委員会で審議し、実行性のある取り組みが図られることが望まれる。</p>	
2	有効性	3			
3	効率性	2			
4	優先度	3			

教育委員会点検・評価書(平成 30 年度実施事業)

No.11	事業名	学力底上げ推進支援事業	担当課	学校教育課
事業概要	<input type="checkbox"/> 学校教育支援員を配置し、学校の状況に応じた適切な学習支援を行い、学力の向上を図る。 <input type="checkbox"/> 日本語教育支援員を配置し、言語指導及び学習支援を行うことにより学校生活への早期適応を図る。			
内部評価			有識者：銘苺 健 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	成果： (1)学校教育支援員、日本語教育支援員を配置することで、個別支援を必要とする児童・生徒への学習支援、基礎学力の定着につなげることができた。 <u>学校教育支援員</u> 32人 <u>日本語教育支援員</u> 4人 (2)校内研究を中心とした日常の授業改善と放課後等の補習指導の計画的継続的な取組 <input type="checkbox"/> 本市の全国学力・学習状況調査の平均正答率の結果が小学校においては国語B・算数のA・B問題がともに全国平均を上回った。また、中学校においてはその差が確実に縮まることにつながった。	沖縄県の懸案事項である学力の向上を受け、本市でも学力向上推進計画が策定され各学校において実践されており、その成果として、指標の一つである全国学力・学習状況調査において、今年度は、小学校で、国語A・B、算数A・Bの内国語B、算数A・Bが全国平均を上回り、中学校においても全国との差が縮まっている結果が出た。このことは現場教師の指導方法の工夫改善が功を奏し、併せて、本市が学力底上げ推進事業として取り組んでいる学校教育支援員の働きが大きく貢献している。これは、本市の児童・生徒の特徴である学力の二極化に対応して、学習支援員が授業の中で担任とT・Tを組み、下位の児童・生徒に丁寧で適切な支援を行った結果でもある。各学校に配置された学習支援員が年3回の研修で自己の業務に誇りを持ち、丁寧な指導がなされていることは、本事業が有効に推進されている結果である。 しかしながら、現在の配置された人数では支援を要する児童・生徒をすべてカバーすることは難しく、今後は増員を図る必要がある。また、同事業の中で、日本語教育支援員の配置は、日本語を母国語としない児童・生徒への言語指導や学習指導を行っており、学習への興味付けを図る指導方法の工夫や手作りの教具等の工夫が対象児童・生徒に学習の意欲を与えている。しかし、支援員が4名に対し必要とする児童・生徒は、小中学校数校にまたがり支援時間が限られているので、支援員の増員も課題である。今後、益々増えるであろう支援対象者に丁寧に支援するためにも人員の増員は大きな課題である。 このように学校教育支援員と日本語教育支援員の増員を図るには、補助金の活用など主幹課側の事業の財源確保の工夫が必要となってくる。ところで、支援員の活用で、校内研究を中心とした日常の授業改善や放課後等の補習指導にあたるにもかかわらず、校内研究を踏まえた研修に参加できないケースもあると聞かすが、校内研究は、校内職員の職種にかかわらず全職員参加の研究や研修が望まれる。
2	有効性	3		
3	効率性	2		
4	優先度	3		
			課題： 学校現場から学校教育支援員の更なる増員を求める声が多い。また、日本語支援を必要とする児童・生徒が複数校にまたがるため、曜日を変えて日本語支援員を配置している状況である。	
			今後の方向性： 学習理解に時間を要する児童生徒に寄り添って支援するために、学校教育支援員・日本語支援員の増員を求めていく。	

教育委員会点検・評価書(平成 30 年度実施事業)

No.12	事業名	中学生海外短期留学生派遣事業	担当課	学校教育課
事業概要	<p>(1) 本市の中学生を夏休み期間中(約4週間)海外に派遣し、海外で学習、生活する機会を与えることにより、視野を広げ、国際社会へ適応する能力・資質を向上させる。</p> <p>(2) 小中連携した英語授業の成果を実体験の中で活かす機会を設けることで、英語学習や異文化理解の意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外短期留学費用の一部を補助する。・派遣生徒に対して事前研修を行う。 ・派遣終了後は、事後報告会3回(市長報告、各中学校、市内英語教育研修会)を行う。 			
内部評価			有識者：銘苺 健 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	<p>成果：</p> <p>(1) ふるさとてだこの都市応援基を活用して、市内5中学校の代表5名の中学生を夏休み期間中に約4週間海外に派遣することができた。 (補助額は1人当たり30万円)</p> <p>①派遣地 米国ワシントン州スタンワッド ②内容 ホームステイによる異文化体験、語学学習、自然体験や施設見学、ボランティア活動 等</p> <p>(2) 報告会の実施 ①報告会を通して、在校生の外国語学習や国際理解に対する意識の高揚を図ることができた。また、派遣生は、自身の体験をまとめ発表することができた。</p> <p>(3) 追跡調査の実施(隔年) 派遣生徒44名を対象に実施し、24名の回答があった。計画的に追跡調査を行い効果性を検証していく。</p> <p>課題：</p> <p>平成31年度の補助額より、令和元年度の補助額が減額となった。今後も事業を継続していくために、効果性を検証していく。</p> <p>今後の方向性：</p> <p>(1) 追跡調査の実施(隔年) 計画的に追跡調査を行い事業の効果性を検証していく。 (2) 本事業の効果性が高いことから、派遣人数や補助額の増額を求めていく。</p>	<p>浦添市は「太陽とみどりにあふれた国際性豊かな文化都市」を掲げている。国際性豊かな文化都市に見合う沖縄国際センターは、市内の小・中学校と交流する等ハード面での環境が整備され活用されている。それに対し中学生海外短期留学事業は、ソフト面での事業になる。学校で学んだ英語を実際に米国現地で試す絶好の機会である。短期間ではあるが、現地で生活や学習を体験することで視野が広がり、将来に対する夢も広がりキャリア教育的にも大きな効果がある。浦添市は、長きに渡って「英語特区」として、小学校から外国語(英語)に親しみ、コミュニケーション力や異文化理解を学んできた。そこで、集大成の一つとして、中学生海外短期留学が位置づけられる。英語に興味・関心が高く意欲的な生徒を派遣するためのこの事業は、留学費用の一部を補助するもので有り、意欲的な生徒の頑張りを後押しするもので大変有効な事業である。派遣される生徒も、市の代表として英語力は無論、本市の歴史文化も事前学習で学び、海外に旅立ち、研修終了後は、報告会を市長や学校関係者の前で行い、誇らしげに報告する姿は自信と誇りが漲っている。</p> <p>ところで、成果として学校で多方面で活躍するようになることは見えるが、卒業後にこの体験が生かされているかなどの追跡調査はこの事業の検証に必要でありこの事業をきっかけに英語の専門性へと進展する姿の確証を得たいので是非、追跡調査を続けて検証してもらいたい。このことが、この事業の有益性を証明し、人材育成と共に補助事業の適正執行に繋がるものと思われる。現在は、各中学校からひとりの派遣枠であるが、将来の浦添市を担う人材の育成として派遣人数や補助額の増を強く要求していただきたい。</p>
2	有効性	3		
3	効率性	3		
4	優先度	3		

教育委員会点検・評価書(平成 30 年度実施事業)

No.13	事業名	浦添市・泉州市交流事業		担当課	こども青少年課
事業概要	浦添市と中国泉州市が締結した友好交流を青少年まで拡大し、2001年5月に覚書を締結した。次代を担う両市の小中学生の訪問・交流を推進することにより、国際感覚を身につけた人材の育成を図り、かつ相互の文化に対する理解と友好の絆を深めることを目的に実施する。				
内部評価				有識者：銘荊 健 氏	
区分	評価	総合	説明等		意見
1	必要性	3	<p>成果： 平成 30 年度は中国泉州市から児童 16 名と役職員 5 名の合計 21 名を受け入れ、主として、内間小学校での交流会、ホームビジット体験、県内の文化施設や観光施設の見学などの体験・交流を行った。これらの体験・交流を通して、言葉の壁を乗り越え、相互の文化に対する理解と友好の絆を深めることができたと考えられる。その一例として、ホームビジットを経験した浦添市児童の中には、はじめは中国へマイナスのイメージを持っていたが、この経験を通して中国に行ってみてみたいと思うようになったという意識変化が確認できたことから、その成果が伺える。これに対して、泉州市児童は、学校交流における初めての給食体験やエイサー鑑賞など、日本の文化を知る機会を提供できた。これらの活動は、まなびフェスタの展示コーナーをとおして、学校交流会の様子や浦添市児童生徒の感想などを広く市民へ周知した。</p> <p>課題： 機会の公平性の観点から、市内小中学校から各 1 人のホームビジット受入が理想だが、希望者が少なく、児童生徒の所属小中学校の偏りが発生している。この偏りの解消が、今後の課題である。</p> <p>今後の方向性： 上記課題解消にむけ、毎年なるべく 1 校あたり 1 人以上の児童生徒を推薦させるように、働きかける。具体的には、ホームビジット受入を行った児童生徒は、派遣の際に優先的に選考を行うことを市内小中学校へ PR させる。</p>		<p>海外の友好都市として、泉州市と締結をしてから小・中学生同士の隔年相互訪問が始まり今回で 15 回目を迎えている。交流を図り国際感覚を身につける人材の育成と異文化理解を図ることが目的とされ、まさに日中友好の交流となっている。今年度は、泉州市からの児童・生徒を受け入れる年となり 16 人の団員を迎え、内間小学校において 6 年生と交歓会を行なっている。そのことは、内間小の児童にとって泉州市の児童と交流することが異文化交流であり異文化理解に繋がっている。児童レベルで国際性豊かな市民としての人材育成である。相互の出し物を鑑賞し、本場の文化や芸能を目の当たりにして世界に羽ばたくことを夢を見た児童も多くいたことであろう。更に、ホームビジットにおいては約半日にわたって泉州市の児童・生徒と時間と行動を共にし、食事や遊びを通して身近なレベルでの国際交流で有り、そのことが中国理解にも繋がっている。児童の作文による友好の必要性や異文化理解の大切さ、語学学習の大切さに気づき学習への意欲を示していることは、本事業の大きな成果である。更に、異文化の友に郷土浦添市のことを説明しようとすることで、浦添に対する誇りと自信を得たようである。同時に、泉州市の児童・生徒においても同じように異文化理解が図られたことと確信している。次年度は、本市の児童・生徒が泉州市を訪ねることになり、今回ホームビジットの児童・生徒が優先されることで今回の交流の成果と反省を生かし、次年度に向けての自主的な語学や文化についての学びができるよう行政として仕掛けをして頂きたい。事前学習が大きな成果を生むことになる。ところで、今回の交流に児童・生徒を派遣できなかった学校が数校あるのは残念である。行政から参加を募るよりも、児童・生徒から参加したいとの声上がるような取り組みが欲しい。泉州市に参加した団員が帰国後、各学校で交歓訪問の報告会などを持ち、後輩に示すことで、是非参加したいと意欲を示す児童・生徒ができるものと期待している。主管課は事業主体として、是非、事後活動を支援し、連続性のある事業として展開して欲しい。</p>
2	有効性	3			
3	効率性	3			
4	優先度	3			

教育委員会点検・評価書(平成 30 年度実施事業)

No.14	事業名	適応教室適応指導員配置事業	担当課	教育研究所
事業概要	適応指導教室に指導員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等を行い、学校復帰を支援する。			
内部評価			有識者：銘苺 健 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	<p>成果： 教育相談室「くくむい」を通して、適応指導教室での指導及び支援が望ましいとされた児童生徒が、体験交流、体験入級を経て、5名入級した。 入級生は、所属学校へ登校する「チャレンジ登校」をいまあじ担当教員と適応教室指導員の連携支援により、全員が学校へ出向くことができた。 計画的に体験活動を実施（宿泊体験・スポーツ活動・農園活動等）することにより、主体的・積極的に参加できるようになった。 また、市内在住の不登校児童生徒を持つ保護者対象の交流会「てだこきずなの会」を年3回実施。</p> <p>課題： 不登校児童生徒への対応が複数部署にまたがっており、各事業間の連携をより緊密にする、または、類似業務を一元化することによって、児童生徒への対応がよりスムーズになる事が考えられる。</p> <p>今後の方向性： 教育相談室と適応指導教室のよりよい連携体制の構築に向けて、複数部署で実施している不登校対策、非行対策等の関連事業について、各部署の役割分担を整理・検討し事業体制の見直しを図る。</p>	<p>本市の課題の一つである登校渋りと不登校児童・生徒の登校復帰を図ることが各学校においても連携して取り組まれているが、学校だけでは厳しい面がある。そこで、教育研究所の適応指導教室「いまあじ」との連携が重要となる。適応指導教室においては、指導員が配置され不登校状態にある児童・生徒の個々の状況に応じた対応がなされ、体験活動や学習指導も含め親身になって相談や支援を行うので、通級児童・生徒も次第に心を開いて、活動や学習に意欲的になり心が学校に向かい始め、今年度は全員が学校に登校できたことは指導員の細かな計画的な支援があったお陰である。そこには、学校現場では難しい個々の児童・生徒の興味・関心が高い体験活動を通して、意図的で計画的な適切な支援が伺える。体験活動でも多義に渡り体験学習や交流活動、スポーツや文化体験教育施設でのキャンプなどがあり、そこで仲間と一緒に活動することでコミュニケーション能力も高まり、学校復帰へ繋がっている。適応指導教室では、児童・生徒の支援だけでなく、子どもの対応に悩む保護者への相談活動も行い、定期的に不登校児童生徒保護者交流会である「てだこきずなの会」も開催し、同じ悩みを持つ保護者の交流を図り保護者の不安感や疲弊感に対して支援を行っている。これは、通級する児童生徒と保護者の精神的な支援へと繋がっている。このように、指導員の緻密で計画的な支援が不登校児童・生徒の学校復帰へと繋がり、本市課題の不登校へ取り組んでいる役割は多大である</p> <p>しかし、不登校の原因は複雑で様々な要因を持っているので、支援方法も多義に渡り関係部署も複数になるので、支援が重なったりし児童・生徒に負担になることも考えられる。そこで、関係部署の連携と事業の見直しが必要とされ、関係部署で協議する必要がある。そうすることで、事業の質・量共に充実が図れるであろうと思慮される。</p>
2	有効性	3		
3	効率性	3		
4	優先度	3		

教育委員会点検・評価書(平成 30 年度実施事業)

No.15	事業名	学校給食費補助金交付事業	担当課	学校給食調理場
事業概要	保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境の整備を図ることを目的として、浦添市立小中学校に在籍する児童生徒の保護者に対し、所得制限を設け学校給食費を全額補助する。			
内部評価			有識者：銘苺 健 氏	
区分	評価	総合	説明等	意見
1	必要性	3	<p>成果：浦添市立小中学校に通う児童生徒の保護者 397 人（内訳：児童 310 人、生徒 87 人）に対し、所得制限を設け平成 30 年度は学校給食費の全額補助へ拡充した。補助金を交付し経済的負担を軽減することができた。</p> <p>課題：補助金財源（3/4）は「沖縄県子ども貧困対策推進交付金」を充てているが、令和 3 年度をもって終了となる。令和 4 年度以降の財源確保が課題である。</p> <p>今後の方向性：子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境整備は極めて重要であり、事業継続に向け研究を重ね取り組む。</p>	<p>学校給食費は、給食の食材料費として徴収されており、納付率が高いほど充実した給食メニューが提供できる。児童生徒の保護者の中で、要保護・準要保護世帯を除いた世帯の保護者が納付義務を負う。その中にも経済的に給食費が保護者の経済負担となる世帯も存在する。その結果、納付が遅れたり未納になったりすることも生じている。これらのことが多数になると充実した給食の提供に支障が出てくる。そのような状況の中で一昨年まで所得制限による半額補助が交付金として支給されていたが、昨年度から所得制限は変わらないが全額補助に拡充され、397人の保護者に補助金を交付している。このことは、対象者の経済的負担を大きく軽減するものであり、子育てを安心してできる環境を提供することができたことは、「沖縄県子ども貧困対策推進交付金」が有効に活用されていると言える。</p> <p>しかしながら、課題は大きくこの事業の財源である「沖縄県子ども貧困対策推進交付金」が期限付きのため、令和 4 年からはこの財源がなくなるが、市民感覚からは、この事業が当然継続するものとの期待が大きく、小・中学生を抱える子育て中の保護者の経済的負担軽減の事業継続をどのようにするのか早めに検討する必要がある。また、類似の交付金など情報網を充実させその代替が図れるよう早めに工夫する必要がある。</p>
2	有効性	2		
3	効率性	2		
4	優先度	2		
B				

資 料

(1) 教育委員会会議における議案等一覧

開催回数 19回 (定例会 12回・臨時会 7回)

議案件名一覧 (議案 51件・報告3件・指名1件)

議案番号	定例会 臨時会	開催日	案件 審議結果	議 案 名
第1号	定-1	H30.4.26	原案どおり 承認	浦添市就学援助規則の一部を改正する規則について
第2号	定-1	H30.4.26	原案どおり 承認	教科用図書那覇採択地区協議会規約の全部改正について
第3号	定-1	H30.4.26	原案どおり 承認	平成30年度浦添市教育委員会推進事業の策定について
第4号	定-2	H30.5.11	原案どおり 了承	第185回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第5号	定-2	H30.5.11	原案どおり 承認	教科用図書那覇採択地区協議会委員の指名について(池田博暁)
第6号	定-3	H30.6.1	原案どおり 承認	浦添市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱を廃止する訓令について
第7号	定-4	H30.7.12	原案どおり 承認	浦添市スポーツ推進審議会規則を廃止する規則について
第8号	定-4	H30.7.12	原案どおり 承認	浦添市立幼稚園の預り保育の運営に関する規則の一部を改正する規則について
報告 第1号	定-4	H30.7.12		平成30年度教育委員会点検・評価報告について
報告 第2号	定-4	H30.7.12		浦添市立学校適正規模等審議会委員の委嘱について(報告)
第9号	定-5	H30.8.3	原案どおり 了承	第186回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第10号	定-5	H30.8.3	原案どおり 承認	浦添市でだこホール設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
第11号	定-5	H30.8.3	原案どおり 承認	臨時代理をしたことを報告し、承認を求めることについて
第12号	定-5	H30.8.3	原案どおり 承認	職員の懲戒処分について(諮問)
第13号	臨-1	H30.8.10	原案どおり 承認	平成31年度使用中学校教科用図書(特別の教科道徳)を採択することについて
第14号	臨-1	H30.8.10	原案どおり 承認	平成31年度使用小学校教科用図書の採択について
第15号	臨-1	H30.8.10	原案どおり 承認	平成31年度使用中学校教科用図書の採択について
第16号	臨-1	H30.8.10	原案どおり 承認	平成31年度使用小学校・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
第17号	臨-2	H30.8.31	原案どおり 承認	職員の懲戒処分について
第18号	定-6	H30.9.6	原案どおり 承認	浦添市立学校処務規程の一部を改正する訓令について
第19号	定-6	H30.9.6	原案どおり 承認	浦添市就学援助規則の一部を改正する規則について

議案番号	定例会臨時会	開催日	案件審議結果	議案名
第20号	定-6	H30.9.6	原案どおり承認	浦添市立当山小学校の分離新設校の候補地選定について（諮問）
第21号	定-7	H30.10.17	原案どおり承認	浦添市自殺対策推進本部設置規程の制定について
第22号	定-8	H30.11.2	原案どおり了承	第187回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第23号	定-8	H30.11.2	意見を付し申出	浦添市立幼保連携型認定こども園に係る教育委員会の意見聴取に関する規則の制定に係る意見の申し出について
報告第3号	定-8	H30.11.2		専決処分について
第24号	定-9	H30.12.6	原案どおり承認	浦添市立学校管理規則の一部を改正する規則について
第25号	定-9	H30.12.6	原案どおり承認	浦添市就学援助規則の一部を改正する規則について
第26号	定-10	H31.1.17	原案どおり承認	浦添市温水プールまじゅんらんの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
第27号	定-10	H31.1.17	原案どおり承認	浦添市教育委員会の組織、事務分掌等に関する規則の一部を改正する規則
第28号	定-10	H31.1.17	原案どおり承認	浦添市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の制定について
第29号	定-10	H31.1.17	原案どおり承認	臨時代理をしたことを報告し、承認を求めることについて
第30号	定-10	H31.1.17	原案どおり承認	平成30年度公立学校管理職途中人事の発令について
第31号	定-10	H31.1.17	原案どおり承認	平成30年度浦添市教育委員会表彰の被表彰者の決定について
第32号	定-11	H31.1.29	原案どおり了承	第188回浦添市議会定例会に提出する議案を作成するための意見の申し出について
第33号	定-11	H31.1.29	原案どおり承認	浦添市立学校管理規則の一部を改正する規則について
第34号	定-11	H31.1.29	取下げ	平成31年度浦添市立幼稚園教諭の人事異動について
第35号	臨-3	H31.2.6	原案どおり承認	平成31年度浦添市立幼稚園教諭の人事異動について
第36号	臨-4	H31.2.19	原案どおり承認	平成31年度公立学校管理職等の人事異動発令について
第37号	臨-4	H31.2.19	原案どおり承認	平成31年度浦添市立幼稚園園長の任免について
第38号	臨-5	H31.2.26	原案どおり承認	平成31年度公立学校教職員等の人事異動発令について
第39号	臨-6	H31.2.28	原案どおり承認	指導主事の派遣に関する内申について
第40号	定-12	H31.3.15	原案どおり承認	教育機関の長の任命について
第41号	定-12	H31.3.15	原案どおり承認	教育委員会事務局職員の人事について

議案 番号	定例会 臨時会	開催日	案件 審議結果	議 案 名
第42号	定-12	H31.3.15	原案どおり 承認	臨時代理をしたことを報告し、承認を求めることについて
第43号	定-12	H31.3.15	原案どおり 承認	浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
第44号	定-12	H31.3.15	原案どおり 承認	浦添市立学校給食調理場設置条例の施行及び給食の実施に関する規則の一部を改正する規則について
第45号	定-12	H31.3.15	意見を付し 申出	浦添市立幼保連携型認定こども園規則の制定に係る意見の申し出について
第46号	臨-7	H31.3.29	原案どおり 承認	浦添市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について
第47号	臨-7	H31.3.29	原案どおり 承認	浦添市立教育研究所設置条例施行規則の一部を改正する規則について
第48号	臨-7	H31.3.29	原案どおり 承認	浦添市就学支援委員会規則の一部を改正する規則について
第49号	臨-7	H31.3.29	原案どおり 承認	浦添市教育支援委員会規則の一部を改正する規則について
第50号	臨-7	H31.3.29	原案どおり 承認	浦添市学校災害補償規則の一部を改正する規則について
第51号	臨-7	H31.3.29	原案どおり 承認	教育委員会職員の人事について（退職）について
指 名	臨-7	H31.3.29		教育長職務代理者の指名について

(2) 教育委員の活動状況

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

日付	活動状況
04/01 (日)	仲西こども園開園式・入園式
04/02 (月)	平成30年度定期人事異動辞令交付式
04/10 (火)	浦添市立小中学校 入学式
04/11 (水)	浦添市立幼稚園 入園式
	沖縄県市町村教育委員会連合会第1回理事会
04/12 (木)	第1回 校長連絡協議会
04/25 (水)	第1回園長・副園長連絡協議会
04/26 (木)	第1回 教育委員会定例会
04/27 (金)	浦添市青少年健全育成市民会議 平成30年度第32回定期総会
05/02 (水)	沖縄県市町村教育委員会連合会宮古島研修会事前勉強会
05/11 (金)	第2回 教育委員会定例会
05/18 (金)	浦添市てだこ学園大学院 平成30年度第31回入学式
05/19 (土)	浦添市立神森中学校男子ハンドボール部全国大会優勝祝賀会
05/22 (火)	全国市町村教育委員会連合会 第63回定期総会・研究大会
05/23 (水)	全国市町村教育委員会連合会 第63回定期総会・研究大会
	平成30年度 浦添市青少年万引き防止対策会議
05/25 (金)	基地内交流にかかる事前会議
	平成30年度浦添地区少年補導員協議会定例表彰式
	浦添市自治会長会平成30年度定期総会後の懇親会
05/28 (月)	総合教育会議議題研究
05/29 (火)	第1回 教科用図書那覇採択地区協議会
05/30 (水)	平成30年度浦添市育英会評議会
06/01 (金)	第3回 教育委員会定例会
06/03 (日)	浦添ジュニアスーパー陸上2018
06/04 (月)	平成30年度 第1回 総合教育会議
06/12 (火)	平成30年度「6.12愛の声かけ一斉早朝コール作戦」
06/19 (火)	勉強会「当山小学校分離新設について」
	異文化交流視察

日付	活動状況
06/20 (水)	平成30年度浦添市学力向上専門部会委員への委嘱状交付及び浦添市学力向上推進専門部会
06/22 (金)	名護市立小中一貫教育校 緑風学園 視察
06/23 (土)	うらそえ平和演劇会
06/26 (火)	エコアイランド視察(港川小学校農業体験視察)
07/03 (火)	第32回 「浦添市少年の主張大会」
07/11 (水)	教育委員勉強会「小中一貫教育校視察報告」
07/12 (木)	平成30年度 第4回 教育委員会定例会
	第2回 教科用図書那覇採択地区協議会
07/16 (月)	平成30年度中国泉州市・浦添市小中学生交流団歓迎レセプション
07/17 (火)	平成30年度中国泉州市・浦添市小中学生交流団来訪(内間小学校にて交流会)
07/19 (木)	平成30年度中国泉州市・浦添市小中学生交流団歓送レセプション
07/20 (金)	市長と意見交換会「小中一貫教育について」
	中国泉州市交流団送別式
	第3回 教科用図書那覇採択地区協議会
07/27 (金)	教育委員勉強会「小中一貫教育について」
08/03 (金)	平成30年度 第5回 教育委員会定例会
08/10 (金)	第1回 教育委員会 臨時会
	沖縄県市町村教育委員会連合会第2回理事会
08/29 (水)	総合教育会議事前勉強会
08/31 (金)	平成30年度 第2回 総合教育会議
	平成30年度 第2回 教育委員会 臨時会
09/04 (火)	第33回沖縄県少年の主張・那覇地区大会
09/06 (木)	平成30年度 第6回 教育委員会 定例会
09/08 (土)	伊祖グスク国指定記念講演会
09/14 (金)	美術館企画展「きらきらひかる展～世界の宝物～」オープニングセレモニー
09/23 (日)	浦添市立仲西小学校 運動会
09/26 (水)	浦添市・泉州市友好都市締結30周年記念式典・祝賀会
10/01 (月)	教育委員会議案勉強会
	新教育委員辞令交付式
10/02 (火)	学校訪問(浦添小学校)
	平成30年度第47期長期教育研究者入所式

日付	活動状況
10/03 (水)	学校訪問(内間小学校)
10/09 (火)	学校訪問(沢岷小学校)
10/10 (水)	教育委員勉強会 (認定こども園について)
10/17 (水)	平成30年度 第7回 教育委員会定例会
	平成30年度沖縄県市町村教育委員会連合会研修会
10/18 (木)	学校訪問(浦西中学校)
10/22 (月)	学校訪問(仲西小学校)
10/24 (水)	学校訪問 (浦添中学校)
10/25 (木)	学校訪問(仲西小学校)
10/26 (金)	第41回浦添てだこまつり前夜祭
10/27 (土)	第41回浦添てだこまつり
10/28 (日)	浦添幼小学校・沢岷幼小学校 運動会
	浦添市立神森中学校男子ハンドボール部 第47回全国中学校ハンドボール大会優勝祝賀会
10/29 (月)	教育委員勉強会
10/30 (火)	学校訪問 (牧港小学校)
10/31 (水)	学校訪問 (当山小学校)
11/01 (木)	学校訪問(前田小学校)
11/02 (金)	平成30年度 第8回 教育委員会定例会
11/03 (土)	まなびフェスタ浦添2018オープニングセレモニー
	浦添市中学生平和交流事業報告・てだこピースワークショップ
11/05 (月)	教育委員との勉強会
	浦添市童話お話意見発表会
11/12 (月)	学校訪問(宮城小学校)
11/14 (水)	学校訪問 (神森中学校)
11/15 (木)	学校訪問 (神森小学校)
11/16 (金)	学校訪問 (港川中学校)
11/20 (火)	学校訪問 (浦城小学校)
11/22 (木)	学校訪問(港川小学校)
11/24 (土)	浦添市文化協会第37回文化祭オープニングセレモニー
11/27 (火)	浦添市てだこ学園大学院創立30周年記念式典・祝賀会
11/28 (水)	当山小学校過大規模解消に関する進捗説明会

日付	活動状況
11/29 (木)	幼稚園給与に関する勉強会
11/30 (金)	教育振興基本計画調整会議
12/01 (土)	第33回公民館まつり開会式
12/02 (日)	2018うらそえYA文芸賞表彰式・平成30年度浦添市立図書館ビブリオバトル
12/06 (木)	平成30年度 第9回 教育委員会定例会
12/09 (日)	浦添市立浦添小学校体育館落成記念式典
12/21 (金)	議会・執行部との意見交換会
01/08 (火)	平成31年浦添市消防出初式
	2019浦添市新年祝賀会
01/13 (日)	平成31年浦添市成人式
01/15 (火)	教育委員勉強会
01/17 (木)	平成30年度 第10回 教育委員会定例会
01/18 (金)	夜間街頭指導情報交換会 (当山小学校さくらホール)
01/19 (土)	浦添市民音楽祭
01/25 (金)	浦添市てだこ学園大学院意見発表会
01/28 (月)	全国学校給食週間における学校での児童生徒との学校給食の会食
	教育委員会勉強会
01/29 (火)	平成30年度 第11回 教育委員会定例会
02/01 (金)	第3回 那覇地区市町村教育委員会協議会 会議
	平成30年度市町村教育委員会教育長・教育委員研修会
02/06 (水)	平成30年度 第3回 教育委員会 臨時会
02/07 (木)	第39回浦添市学校保健研究大会
02/09 (土)	平成30年度浦添市教育委員会表彰式
02/14 (木)	第4回 教科用図書那覇採択地区協議会
	平成31年浦添市体育功労賞等表彰式
02/16 (土)	平成30年度第37回浦添市PTA研究大会
02/19 (火)	平成30年度 第4回 教育委員会 臨時会
02/24 (日)	平成30年度 浦添市文化芸術振興事業 ミュージカル『尚寧王』
02/26 (火)	平成30年度 第5回 教育委員会 臨時会
02/28 (木)	平成30年度 第6回 教育委員会 臨時会
03/03 (日)	浦添市てだこ市民大学開学10周年記念式典

日付	活動状況
03/08 (金)	第30回 浦添市てだこ学園大学院卒業式・祝賀懇親会
03/09 (土)	浦添市立中学校卒業式
03/12 (火)	教育委員勉強会
03/15 (金)	浦添市立幼稚園修了式・神森幼稚園閉園式
	平成30年度 第11回 教育委員会定例会
03/20 (水)	浦添市立小学校 卒業式
	総合教育会議 事前勉強会
03/22 (金)	第47期 教育研究委員等研究成果報告会及び修了式
03/24 (日)	浦添少年少女合唱団2018年度演奏会
03/25 (月)	平成30年度 第3回教育総合会議
03/29 (金)	平成30年度 第7回 教育委員会 臨時会
	辞令交付式

(3) 教育長の活動状況

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

日付	活動状況
04/01 (日)	仲西こども園開園式・入園式
04/02 (月)	平成30年度定期人事異動辞令交付式
	拡大庁議
	新年度あいさつ訪問(市内小中学校)
04/03 (火)	新年度あいさつ訪問(市内小中学校)
	那覇市・浦添市合同学力向上推進協議会
04/04 (水)	業務運営会議
	新年度あいさつ訪問(市内小中学校)
	暴力団壊滅神森中学校区連絡協議会平成30年度定期総会
04/05 (木)	浦添市初任者研修
	平成30年春の全国交通安全運動出発式
04/06 (金)	新年度あいさつ訪問(市内小中学校)
	要請訪問(働き方改革における教育長要請訪問)
04/08 (日)	琉球箏曲興陽会浦添支部創立30周年記念式典
	第70回「沖展」 記念撮影
04/09 (月)	政策会議
	事務調整
04/10 (火)	牧港小学校入学式
	神森中学校入学式
04/11 (水)	臨時庁議
	浦添市行政改革推進本部会議
04/12 (木)	第1回校長連絡協議会
04/13 (金)	中央公民館利用者団体連絡協議会表敬訪問
	平成30年度浦添市こいのぼり掲揚式
	教科用図書採択に向けた会議
04/14 (土)	浦添市ママさんバレーボール連盟平成30年度定期総会
04/15 (日)	家庭倫理講演会
04/16 (月)	てだこ学園大学院30周年記念事業に関する意見交換会
	不登校等児童対策推進委員会事前レク
04/17 (火)	平成30年度第1回不登校等児童生徒対策推進委員会
04/18 (水)	来客(てだこ市民大学8期生来訪 前田高地マップ贈呈)
04/19 (木)	平成30年度中部南保護区保護司会浦添市支部定期総会
04/20 (金)	浦添市てだこ学園新役員来訪
	来客(担当課:文化スポーツ振興課)
	浦添市てだこホール指定管理共同企業体関係者来訪

日付	活動状況
04/20 (金)	中央公民館利用者団体連絡協議会総会
04/21 (土)	第23回浦添市内中学校親善野球大会
	仲西中学校吹奏楽部定期演奏会
04/23 (月)	教頭連絡協議会
	事務調整
	市長新政策の事前レク
04/24 (火)	定例ミーティング
	市長新政策事前レク
	第41回(平成30年度)浦添てだこまつり実行委員会
	第36回浦添市民憲章推進協議会総会
	那覇地区小中学校長懇親会
04/25 (水)	事務調整
	第1回園長・副園長連絡協議会
04/26 (木)	第1回 教育委員会定例会
	「アメリカで沖縄の未来を考える」(TOFU)プログラム参加者報告会
04/27 (金)	浦添市文化芸術事業協議会
	沖縄石の文化博物館内覧会
	浦添市青少年健全育成市民会議 平成30年度第32回定期総会
05/02 (水)	業務運営会議
	来客(那覇地区校長会会長来訪(新年度あいさつ))
	来客(市内郵便局長来訪 かもめーるの贈呈について)
	連合会総会の事前レク
	幼稚園・小中学校との懇親会
05/07 (月)	政策会議
	事務調整
05/08 (火)	市町村教育委員会連合会総会
05/09 (水)	
05/10 (木)	来客(浦添商業高校校長教頭来訪)
	第1回浦添市育英会理事会
	平成30年度第1回市町村教育委員会教育長連絡協議会
05/11 (金)	第2回 教育委員会定例会
05/14 (月)	政策会議
	浦添市文化芸術振興事業協議会の答申
05/15 (火)	定例ミーティング
	庁議
	中琉文化経済交流協会関係者来訪
	有限会社グシケン商事様より本の贈呈式
05/15 (火)	浦添市文化芸術振興事業実行委員会総会

日付	活動状況
05/16 (水)	
05/17 (木)	全国都市教育長協議会
05/18 (金)	浦添市てだこ学園大学院平成30年度第31回入学式
05/19 (土)	第18回浦添市障がい児・者関係団体連絡協議会定期総会
	浦添市立神森中学校男子ハンドボール部全国大会優勝祝賀会
	浦添市文化協会「第37回定期総会」懇親会
05/20 (日)	牧港補給地区(国道58号沿い)の返還及び西普天間住宅地区引渡式・祝賀会
	第38回浦添市子連定期総会及び表彰式、表彰祝賀会
	平成30年度浦添市青年連合会定期総会
05/21 (月)	政策会議
	事務調整
	小中学校長評価者面談
05/22 (火)	小中学校長評価者面談
05/23 (水)	小中学校長評価者面談
	事務調整
05/24 (木)	情報教育推進委員会
	第52回浦添市老人クラブ大会
	千羽鶴プロジェクトの協力及びお礼のためキンザー小学校関係者来訪
05/25 (金)	基地内交流にかかる事前会議
	平成30年度浦添地区少年補導員協議会定例表彰式
	浦添市自治会長会平成30年度定期総会後の懇親会
05/28 (月)	臨時庁議
	来客(放送大学沖縄大学センター教授 来訪)
	浦添市てだこ学園大学院同窓会 第23回定期総会
	第35回中部振興会総会
05/29 (火)	定例ミーティング
	来客(浦添市租税教育推進協議会定期総会の打ち合わせ)
	教科用図書那覇採択地区協議会
05/30 (水)	来客(那覇地区中体連表敬訪問)
	平成30年度浦添市育英会評議会
	事務調整
05/31 (木)	業務運営会議
	平成30年度浦添市租税教育推進協議会定期総会
06/01 (金)	第3回 教育委員会定例会
	平成30年度沖縄県社会教育委員連絡協議会総会
06/03 (日)	浦添ジュニアスーパー陸上2018
06/04 (月)	第185回6月浦添市議会定例会

日付	活動状況
06/04 (月)	事務調整
	平成30年度 第1回 総合教育会議
06/05 (火)	定例ミーティング
	一般質問勉強会
06/07 (木)	事務調整
	寄附金実績報告 文化協会 新旧役員・幹事・評議員歓送迎会
06/08 (金)	第185回浦添市議会定例会
06/11 (月)	
06/12 (火)	平成30年度「6.12愛の声かけ一斉早朝コール作戦」
	来客(山東省書画代表団表敬訪問 2018沖縄書道展)
06/13 (水)	第185回浦添市議会定例会
06/14 (木)	
06/15 (金)	
06/16 (土)	
06/17 (日)	港川小学校学習発表会
06/17 (日)	第46回浦添市ママさんバレーボール大会
06/19 (火)	定例ミーティング
	勉強会「当山小学校分離新設について」
	異文化交流視察
06/20 (水)	第185回浦添市議会定例会
	平成30年度浦添市学力向上専門部会委員への委嘱状交付及び浦添市学力向上推進専門部会
06/21 (木)	来客(民生委員来訪)
	来客(仙台育英高校通信課程ILC沖縄所長来訪)
06/22 (金)	緑風学園視察
	浦添市てだこホール自主事業「反田恭平ピアノリサイタル」PRのため反田恭平氏ほか関係者来訪
06/25 (月)	輝くてだこ市民賞授与式
	浦添商工会議所 第55回通常議員総会後の懇親会
06/26 (火)	定例ミーティング
	エコアイランド視察
06/28 (木)	来客(仲西子どもライフサポートセンターの設立に関する報告)
06/29 (金)	浦添市校長連絡協議会役員表敬
07/01 (日)	第38回浦添市小学生水泳大会
07/02 (月)	第68回「社会を明るくする運動」総理大臣メッセージ等伝達式
	事務調整
	平成30年度浦添市中学生海外短期留学生派遣事業結団式

日付	活動状況
07/03 (火)	定例ミーティング
	異文化交流視察
	来客 (教職員組合那覇支部定期大会の決議文の提出)
07/04 (水)	「孫大川書法藝術/陳俊秀有機鼻煙壺 特展」開会式典
	オーディオからの乾パン寄贈
07/05 (木)	平成30年度 第1回情報化推進委員会
	平成30年度浦添市PTA連合会役員来訪
07/06 (金)	業務運営会議
07/09 (月)	政策会議
	事務調整
07/10 (火)	定例ミーティング
07/12 (木)	平成30年度 第4回 教育委員会定例会
	第2回 教科用図書那覇採択地区協議会
07/13 (金)	来客 (那覇地区公立幼稚園・こども園会要請訪問)
07/14 (土)	葛飾北斎展オープニングセレモニー
07/16 (月)	平成30年度中国泉州市・浦添市小中学生交流団歓迎レセプション
07/17 (火)	定例ミーティング
	平成30年度中国泉州市・浦添市小中学生交流団来訪
	庁議
	泉州市・浦添市小中学生交流事業:学校交流会
	泉州市・浦添市小中学生交流事業:夕食会
07/18 (水)	来客 (寄附金事業について)
	沖縄県野球連盟中部南支部関係者来訪
07/19 (木)	平成30年度中国泉州市・浦添市小中学生交流団歓送レセプション
07/20 (金)	事務調整
	教科用図書那覇採択地区協議会
	沖縄タイムス創刊70周年記念祝賀会
07/23 (月)	政策会議
	事務調整
07/24 (火)	定例ミーティング
	来客 (沖縄県外務省職員来訪)
07/25 (水)	平成30年度浦添市小中学校特別活動・外国語教育研修会
07/27 (金)	沖縄県都市教育長協議会 第1回会議
07/30 (月)	政策会議
	平成30年度沖縄県幼児教育合同研修会
07/31 (火)	平成30年度浦添市中中学生海外短期留学生派遣事業出発式
	有限会社沖縄電気建設様より育英会寄付金贈呈式
	那覇地区中学校文化連盟 表敬訪問

日付	活動状況
08/01 (水)	第一回沖縄空手国際大会
08/03 (金)	平成30年度 第5回 教育委員会定例会
	アクアパークチケット招待券贈呈式
	ネパール国空手道合宿ナショナルチーム表敬
08/04 (土)	第4回トロピカル沖縄交流学童軟式野球大会(第19回浦添市長杯争奪学童軟式野球大会)
	浦添市バレーボールまつり開会式
	平成30年度 浦添市ボランティア月間 第17回うらそえふくしまつり第21回ボランティアまつりオープニングセレモニー
08/06 (月)	来客(総務省沖縄総合通信事務所来訪「子供たちと携帯電話との付き合い方について」)
08/07 (火)	定例ミーティング
08/10 (金)	第1回 教育委員会 臨時会
	那覇浦添地区中学校特別支援教育研究会来訪
08/12 (日)	浦添城・ようどれ探検出発式
	沖縄小林流空手道協会第4回国際親善沖縄小林流空手・古武道演武大会
	平成30年度「沖縄県子育てセミナー大会」
08/13 (月)	事務調整
08/14 (火)	定例ミーティング
	平成30年度第1回浦添市立学校適正規模等審議会
08/15 (水)	来客(第39回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会全国大会 小学生の部優勝報告)
	浦添市と浦添市医師会との意見交換会
08/19 (日)	第32回西原大綱引き
08/21 (火)	定例ミーティング
	事務調整
08/22 (水)	臨時庁議
08/24 (金)	事務調整
08/27 (月)	政策会議
	第1回浦添市まちづくり生涯学習推進本部会議
	事務調整
08/28 (火)	定例ミーティング
	事務調整
08/29 (水)	総合教育会議事前勉強会
08/30 (木)	業務運営会議
08/31 (金)	平成30年度 第2回 総合教育会議
	平成30年度 第2回 教育委員会 臨時会
	平成30年度浦添市中学生海外短期留学生派遣事業帰国報告会
09/01 (土)	第14回浦添市スポーツ少年団交流祭
09/02 (日)	第23回浦添市空手道大会開会式

日付	活動状況
09/03 (月)	第186回9月浦添市議会定例会
09/04 (火)	定例ミーティング
	第33回沖縄県少年の主張・那覇地区大会
	一般質問勉強会
09/05 (水)	事務調整
	平成30年度浦添・西原地区安全なまちづくり推進協議会
09/06 (木)	平成30年度 第6回 教育委員会 定例会
	輝くてだこ市民賞授与式
09/07 (金)	第186回9月浦添市議会定例会
09/08 (土)	伊祖グスク国指定記念講演会および祝賀会
	第9回シラックジャパンプレゼンツ コラソンナイト(パーティ)
09/09 (日)	伊祖城国指定記念イベント「アマミクの聖地・伊祖グスクをあるく」
	第12回浦添市語やびらしまくとぅば大会
09/10 (月)	第186回9月浦添市議会定例会
	公民館運営審議会
09/11 (火)	
09/12 (水)	第186回9月浦添市議会定例会
09/13 (木)	
09/14 (金)	美術館企画展「きらきらひかる展～世界の宝物～」オープニングセレモニー
	第186回9月浦添市議会定例会
09/15 (土)	しまくとぅば中部地区大会
09/16 (日)	第37回浦添市ママさんバレーボールシニア大会
	美術館企画展記念講演会
	美術館企画展講演会招聘講師との懇親会
09/18 (火)	定例ミーティング
	来客（公民館利用団体来訪(冊子贈呈)
09/20 (木)	第186回9月浦添市議会定例会
09/21 (金)	第60回那覇地区陸上競技大会
09/22 (土)	浦添工業高等学校第11回体育祭
09/23 (日)	第17回うらそえ青年祭
09/24 (月)	仲西自治会十五夜獅子舞
09/25 (火)	定例ミーティング
	寄付金贈呈式
	泉州市歓迎夕食会
09/26 (水)	浦添市・泉州市友好都市締結30周年記念式典・祝賀会
09/27 (木)	公益社団法人南部地区歯科医師会役員来訪
10/01 (月)	政策会議
	新教育委員辞令交付式

日付	活動状況
10/01 (月)	平成30年度第2回市町村教育委員会教育長連絡協議会
10/02 (火)	定例ミーティング
	学校訪問
	来客 (県教育庁生涯学習振興課 生涯学習推進センター長・担当者訪問)
	平成30年度第47期長期教育研究者入所式
10/03 (水)	学校訪問
10/05 (金)	来客 (大平特別支援学校美術展の開催について)
10/06 (土)	第31回ライオンズクラブ国際平和ポスターコンテスト展
10/07 (日)	第64回浦添市自治会対抗陸上競技大会
10/09 (火)	定例ミーティング
	学校訪問
	第72回浦添市戦没者追悼式
10/10 (水)	九州都市教育長協議会(出張)
	ANA SPORTS PARK浦添(浦添運動公園)オープニングセレモニー
10/11 (木)	九州都市教育長協議会(出張)
10/12 (金)	
10/15 (月)	政策会議
10/16 (火)	定例ミーティング
	庁議
	浦添市行政改革推進本部
	第41回(平成30年度)浦添てだこまつり第3回実行委員会
	輝くてだこ市民賞授与式
10/17 (水)	平成30年度 第7回 教育委員会定例会
	ひかり商事株式会社 儀間恒雄様より育英会・教育委員会への寄付金に対する感謝状贈呈式
	平成30年度沖縄県市町村教育委員会連合会研修会
10/18 (木)	学校訪問(浦西中学校)
10/20 (土)	平成30年度民間放送教育協会 第54回テレビと生涯学習研究協議会 全国大会2018沖縄
10/21 (日)	内間幼小運動会
	浦城小学校ハンドボールクラブ 第31回全国小学生ハンドボール大会男女アベック出場記念及び優勝祝賀会
10/22 (月)	政策会議
	学校訪問(仲西小学校)
10/24 (水)	学校訪問 (浦添中学校)
10/25 (木)	学校訪問(仲西小学校)
10/25 (木)	都市教育長協議会事前レク・補正予算勉強会
10/26 (金)	沖縄県都市教育長協議会 第2回会議
10/27 (土)	第41回浦添てだこまつり てだこ火採火式

日付	活動状況
10/27 (土)	未成年者飲酒防止・飲酒運転根絶キャンペーン
	第41回浦添てだこまつり てだこ火点火式・開会宣言・てだこレディ発表
10/28 (日)	浦添幼小運動会
	第41回浦添てだこまつり てだこ演舞まつり・市民総踊りカチャーシー・閉会宣言
	浦添市立神森中学校男子ハンドボール部 第47回全国中学校ハンドボール大会優勝祝賀会
	てだこまつり夜間該当指導出発式
10/29 (月)	民生委員来訪
	事務調整
10/30 (火)	定例ミーティング
	学校訪問
	平成30年度沖縄県教育委員会研究指定校3年次研究発表会
10/31 (水)	学校訪問 (当山小学校)
	評価者面談
11/01 (木)	除草剤散布に関する記者会見
	学校訪問
	評価者面談
	事務調整
11/02 (金)	平成30年度 第8回 教育委員会定例会
	評価者面談
11/03 (土)	歴史ロマン街道「尚寧王の道を訪ねる」出発式
	まなびフェスタ浦添2018オープニングセレモニー
	放課後子どもフェスタ
	浦添市中学生平和交流事業報告・てだこピースワークショップ
11/04 (日)	宮城幼小運動会
11/05 (月)	評価者面談
	教育委員との勉強会
	日本共産党浦添市議団・浦添市委員会来訪
11/06 (火)	定例ミーティング
	校長連絡協議会
	浦添市小中学校童話・お話・意見発表大会
11/07 (水)	業務運営会議
	情報モラルについての取材
11/08 (木)	キンザー小学校代表児童および関係者来訪
	図書寄贈
11/09 (金)	認知症サポーター養成講座
	平成30年度沖縄県教育関係職員表彰
	無所属の会との意見交換会

日付	活動状況
11/10 (土)	第24回那覇地区中学校総合文化祭開会式
11/11 (日)	マーチングバンドインオキナワ2018
	平成30年度浦添市文化芸術振興事業「気軽にクラシックコンサート」
	浦添市ハンドボール王国まつり「第43回日本ハンドボールリーグ沖縄大会」
11/12 (月)	政策会議
	学校訪問(宮城小学校)
	評価者面談
11/13 (火)	定例ミーティング
	事務調整
	来客 (お仕事カーニバルin浦添市についての表敬訪問)
11/14 (水)	学校訪問
	事務調整
11/15 (木)	2018中国国際友好都市大会『対華友好都市交流協力賞』授賞式
11/16 (金)	第69回九州地区公民館研究大会沖縄大会
	学校訪問 (港川中学校)
11/17 (土)	2018中国国際友好都市大会『対華友好都市交流協力賞』授賞式
11/18 (日)	浦添中学校区サンライズフェスタin2018
11/19 (月)	臨時庁議
	来客 (要請 福祉部同席)
11/20 (火)	定例ミーティング
	事務調整
11/21 (水)	犯罪者週間 沖縄大会
11/22 (木)	学校訪問(港川小学校)
	沖縄県公共図書館連絡協議会第3回研修会
	平成30年度英語教育研修会
11/23 (金)	第2回おしごとカーニバルinうらそえ市
11/24 (土)	浦添市文化協会第37回文化祭オープニングセレモニー
	那覇地区善行児童生徒表彰式
	沖縄県民体育大会役員懇親会
11/25 (日)	第30回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会
11/26 (月)	政策会議
11/27 (火)	定例ミーティング
	浦添市てだこ学園大学院創立30周年記念式典・祝賀会
11/28 (水)	当山小学校過大規模解消に関する進捗説明会
11/29 (木)	業務運営会議
	臨時庁議

日付	活動状況
11/29 (木)	平成30年度浦添市南米移住者子弟研修生受け入れ事業修了式・送別会
11/30 (金)	平成30年度人権の花運動 植え付け式
	平成30年度大平特別支援学校美術展開会セレモニー
12/01 (土)	第33回公民館まつり開会式
	平成30年度浦添市障がい児・者ふれあいクリスマス会
12/02 (日)	2018うらそえYA文芸賞表彰式・平成30年度浦添市立図書館ビブリオバトル
	平成30年度浦添市婦人連合会「第23回演芸のつどい」
12/03 (月)	第187回12月浦添市議会定例会
12/04 (火)	定例ミーティング
	教育委員会一般質問勉強会
	第37回全九州珠算選手権大会 団体総合競技 小学生の部 優勝報告
12/05 (水)	事務調整
12/06 (木)	平成30年度 第9回 教育委員会定例会
12/07 (金)	第187回12月浦添市議会定例会
12/08 (土)	うらそえ里浜ネットワーク実行委員会 沖縄県環境功労者賞・沖縄タイムス地域貢献賞 受賞祝賀会
12/09 (日)	浦添市立浦添小学校体育館落成記念式典
	第4回沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」
12/10 (月)	第187回12月浦添市議会定例会
	仲西中学校「感謝のお茶会」
12/11 (火)	定例ミーティング
	第187回12月浦添市議会定例会
	叙勲・褒章・大臣表彰等受章合同祝賀会並びに会員年末懇親会
12/12 (水)	第187回12月浦添市議会定例会
	一般社団法人浦添市医師会忘年会
12/13 (木)	第187回12月浦添市議会定例会
12/14 (金)	
12/16 (日)	第14回大信館空手道選手権大会開会式
12/17 (月)	臨時庁議
	来客（年末のあいさつ 担当課：文化スポーツ振興課）
12/18 (火)	定例ミーティング
	浦添サンパークてだこ通り会30周年記念誌贈呈式
12/19 (水)	第19回浦添市小中学校美術作品展
12/20 (木)	沖縄県教育庁来訪
12/21 (金)	臨時庁議
	第187回12月浦添市議会定例会
12/25 (火)	定例ミーティング
	教育委員会表彰審査会

日付	活動状況
12/25 (火)	第41回(平成30年度)浦添てだこまつり実行委員会
12/26 (水)	平成30年度 第1回史跡浦添城跡整備委員会
12/27 (木)	社会を明るくする運動関連事業への協力依頼
	沖教組那覇支部来訪
12/28 (金)	臨時庁議
	拡大庁議
01/04 (金)	国旗・県旗・市旗・レインボーフラッグ掲揚式
	平成31年 年始式
	拡大庁議
	事務調整
01/07 (月)	政策会議
01/08 (火)	平成31年浦添市消防出初式
	2019浦添市新年祝賀会
	平成31年(一社)浦添市スポーツ協会新年会
01/09 (水)	業務運営会議
01/11 (金)	MINITURE LIFE展チケット贈呈式
01/13 (日)	平成31年浦添市成人式
01/15 (火)	庁議
	浦添市行政改革推進本部
	教育委員との勉強会
	浦添市民生委員児童委員連絡協議会平成31年新春の集い
	公益社団法人浦添青年会議所2019年度新年意見交歓会
01/17 (木)	平成30年度 第10回 教育委員会定例会
01/19 (土)	浦添市民音楽祭2019
01/21 (月)	政策会議
01/22 (火)	伊祖グスク国指定文書伝達式
01/24 (木)	平成30年度沖縄県教育委員会研究指定校〈教育課程〉研究発表会
01/25 (金)	株式会社ヤクルト球団関係者来訪
	沖縄県都市教育長協議会 第3回会議
01/26 (土)	第26回愛汗祭(大平特別支援学校)
01/27 (日)	第37回浦添市子ども会まつり
01/28 (月)	政策会議
	全国学校給食週間における学校での児童生徒との学校給食の会食
	教育委員会勉強会
	東京ヤクルトスワローズ浦添協力会役員会
	第17回よみうり大琉球まつり
01/29 (火)	平成30年度 第11回 教育委員会定例会
	沖縄県情報産業協会平成30年度講演会

日付	活動状況
01/30 (水)	平成30年度沖縄県教育委員会研究指定校〈持続可能な開発のための教育研究指定校委託〉研究発表会
01/31 (木)	評価システム評価面談(最終)
02/01 (金)	東京ヤクルトスワローズ春季キャンプ歓迎式
	第18回沖縄県健康教育研究大会開会式
	平成30年度市町村教育委員会教育長・教育委員研修会
02/02 (土)	第18回うらそえツデーマーチ てだこウォーク2019～てだこの都市・浦添 あまくま歩っちゅん浪漫ウォーク～ ふれあいパーティ
02/03 (日)	
02/04 (月)	事務調整
02/05 (火)	株式会社佐久本工機様より寄付金贈呈式
02/06 (水)	平成30年度 第3回 教育委員会 臨時会
	平成30年度浦添市立学校適正規模等審議会答申
02/07 (木)	第39回浦添市学校保健研究大会
	平成30年度沖縄県児童生徒等表彰式
02/08 (金)	校長連絡協議会
02/09 (土)	平成30年度浦添市教育委員会表彰式
	浦添市グッジョブ連携協議会 第2回グローバル育成事業報告会
	浦添市ママさんバレーボール連盟創立40周年記念式典・祝賀会
02/12 (火)	庁議
02/13 (水)	平成30年度 第2回浦添市不登校等児童生徒対策推進委員会
	平成30年度 第2回学力向上推進委員会
02/14 (木)	教科用図書那覇採択地区協議会第4回会議
	平成31年浦添市体育功労賞等表彰式及びスポーツ愛好者懇親会
02/15 (金)	教頭連絡協議会
02/16 (土)	平成30年度第37回浦添市PTA研究大会
02/19 (火)	定例ミーティング
	平成30年度 第4回 教育委員会 臨時会
	平成30年度第2回史跡浦添城跡整備委員会
	情報教育推進委員
02/21 (木)	沖縄県倫理運動創始60周年・記念誌発刊 ～いま、推進する家庭教育の実践活動～
02/22 (金)	平成30年度人権の花運動 開花式
	浦添市民憲章実践活動標語コンクール表彰式
02/24 (日)	平成30年度 浦添市文化芸術振興事業 ミュージカル『尚寧王』
02/25 (月)	第188回3月浦添市議会定例会
	東京ヤクルトスワローズキャンプ打ち上げ式
02/26 (火)	沖縄タイムス社様より第71回「沖展」浦添市内小中学生招待券贈呈式
	平成30年度 第5回 教育委員会 臨時会

日付	活動状況
02/26 (火)	一般質問勉強会
	事務調整
02/27 (水)	事務調整
02/28 (木)	平成30年度 第6回 教育委員会 臨時会
	図書贈呈式
03/01 (金)	事務調整
	第188回3月浦添市議会定例会
03/02 (土)	第42回浦添市社会福祉大会
03/03 (日)	浦添市てだこ市民大学開学10周年記念式典
03/04 (月)	
03/05 (火)	
03/06 (水)	第188回3月浦添市議会定例会
03/07 (木)	
03/08 (金)	
03/09 (土)	
03/09 (土)	神森中学校卒業式
	第24回文化講演会
03/11 (月)	第27回JOCジュニアオリンピックハンドボール大会祝賀会
03/12 (火)	ヒヤリンググループ贈呈式
	尚本家二十三代当主尚衛氏来訪
03/13 (水)	デンマーク女子ハンドボール連盟浦添視察団来訪
	来客(表敬 担当課:文化スポーツ振興課)
	第18回沖縄県健康教育研究大会第2回連絡会議
	平成30年度新春受賞者祝賀会
03/14 (木)	来客(大平特別支援学校来訪 担当課:美術館)
03/15 (金)	浦添幼稚園修了式・閉園式
	平成30年度 第11回 教育委員会定例会
	臨時庁議
03/19 (火)	来客(講演会案内)
03/21 (木)	株式会社琉球コラソン2018-19シーズン報告会
03/22 (金)	事務調整
	第47期 教育研究委員等研究成果報告会及び修了式
03/23 (土)	第71回「沖展」 開会式
03/24 (日)	浦添少年少女合唱団2018年度演奏会
	第71回「沖展」 合同祝賀会
03/25 (月)	公共施設等総合管理計画推進本部
	平成30年度 第3回教育総合会議
	平成30年度第2回育英会理事会

日付	活動状況
03/26 (火)	第188回3月浦添市議会定例会
03/29 (金)	平成30年度 第7回 教育委員会 臨時会
	第35回九州小・中学生アイスホッケー選手権大会優勝・準優勝報告
	辞令交付式
	拡大庁議

点検・評価を終えて

令和元年度「教育委員会点検・評価書」がまとまりました。

「教育委員の活動評価」については、昨年度より、新教育委員会制度導入に伴う教育長へのチェック機能も評価に加え、評価項目ごとにABCの評価を行う自己評価方式を導入したところです。

その中において、特に教育委員会議においては、審議の活性化、深化を図るための事前の議案資料の読み込みや、自主的な学習の場を設けるなどして会議に臨みました。また、毎年実施している市内16校の学校訪問を始め、多くの本市学校教育事業、社会教育事業、更には本市教育関係団体主催事業等にも積極的に参加し現状把握に努めてまいりました。しかしながら、限られた時間の中で、特に、学校以外の教育機関が抱える課題や現状把握については未だ十分とは言えず、Bという自己評価を下したところです。

「教育長への委任事務」については、重点施策と位置付ける事業の中から15の事業を精選し、事業主管課の自己評価に対して有識者による外部評価を行いました。結果は自己評価配点基準による総合評価では、15事業のうち14事業がA評価であり、1事業がB評価でした。事業全体としては、前年度評価も踏まえ着実に推進されたと思われませんが、事業の「効率性」が15事業のうち2点評価が6事業もあり、一定の課題があることもわかりました。

今後は、内部評価において、それぞれの事業ごとに確認した課題や今後の方向性、更には有識者による指摘や助言を真摯に受け止め、施策の着実な実現に向け効果的な教育行政の推進に努めてまいりたいと思います。

市民の皆様の関心や要望を適切に反映させながら教育行政を行っていくためには、教育委員会が本市の教育の実情や行政課題をよりの確に把握し、適切な施策を講じる必要があります。さらに、総合教育会議などを通して、市長と本市教育の課題を共有し、課題解決そして発展に向け連携していくことが重要と考えます。

結びに、新しい時代を迎えた令和元年度の「点検・評価」にあたり、書面のみならず、担当部署や関係者への聞き取り、現地調査、関係資料の読み込みなど精力的に取り組まれた上に、有識者としての大所高所からの細やか且つ丁寧なご助言、ご意見を頂きましたことに衷心より厚く感謝を申し上げます。

浦添市教育委員会